



A detailed technical line drawing of a drift racing car's drivetrain and suspension. The drawing shows the engine at the front, connected by a driveshaft to a differential and then to each of the four wheels via halfshafts. The front suspension includes coilovers and anti-roll bars, while the rear features a multi-link setup. The car is shown from a three-quarter perspective, highlighting its mechanical complexity.

DRIFT PACKAGE

DRIFT RACER

この度はヨコモ製R/Cカーキットをお買い求め頂き、誠に有り難うございます。このキットは、ワールドチャンピオン メーカーであるヨコモの高性能・競技用R/Cカーです。
本説明書に従った正しい組立・安全な走行をして頂ければ、誰でも手軽に楽しむことが出来ます。

Thank you for purchasing this Yokomo product. This high performance competition kit has been proudly manufactured by Yokomo - World Champion R/C car manufacturer.
Proper assembly of this product will provide fun, safe enjoyment.

R/C カーを安全に楽しんで頂くための 注意事項

お子様(中学生以下)が組立・走行する際は、必ず保護者の方が付き添い 安全を確認して下さい。

組立の注意

- 幼児のいる場所では組み立てないで下さい。小さな部品を飲み込む等、非常に危険です。
- 組立の前に必ず内容をお確かめ下さい。万一不良部品、不足部品などがあった場合は、ヨコモ アフターサービス部までお問い合わせ下さい。
- 組立の前に説明書を最後まで読み、全体の流れをつかむと効率的な組立が出来ます。
- 組み立てる際は、様々な工具が必要になります。安全の為に必ず作業内容に合った工具を使用して下さい。又、カッターナイフ等を使用する際は危険を伴いますので、注意して下さい。
- 部品には様々な素材を使用しています。切削加工された金属バーツ等はエッジが鋭く、慎重な組立が必要となります。ケガをしないよう注意して下さい。
- プラスティックバーツなどを切断する際は、切断した部品が飛び危険があるので注意して下さい。
- 回転部や駆動部は出来るだけスムーズに動作するように組み立てて下さい。
- 配線やコード類はきれいにまとめて下さい。回転部分や走行路面にコードが接触すると危険です。又、配線は確実に接続されていないショートなどの恐れや、性能を十分に発揮出来ない場合があります。
- 必要以上の分解、改造をすると、安全性が低下したり走行性能が十分に発揮出来なくなる場合があります。
- 塗装は、周囲に火気の無いことを確認し、換気の良い場所で行って下さい。

走行の注意

- ヨコモ製R/Cカーは競技用の為、時速40kmを越える速いスピードが出るモデルもあります。ルールを守って安全な場所や、R/Cカー用サークットで走らせて下さい。
- 公道等、周囲の人の迷惑になるような場所では絶対に走らせないで下さい。
- R/Cカーは電波を利用する為、何らかのトラブルで最悪の場合は暴走する事があります。狭い場所や室内は避け、出来るだけ広い、障害物のない場所で走らせて下さい。
- 周囲にR/Cカーを走らせている人がいる場合は、電波が重ならないように、周波数を確認し合って、安全を確かめて下さい。
- R/Cカーは水を嫌います。雨の日や、水たまりのある場所で走らせると、R/Cメカが壊れたり、暴走する危険があります。
- R/Cカーの駆動部分、ギヤやベルト、タイヤなどは高回転で回ります。バッテリーを接続した後は危険ですので、回転部分に手を触れないで下さい。
- 走行後のR/Cカーは各部が高温になる事があります。危険ですので冷却期間をおいてから、メンテナンスなどをして下さい。

走らせる手順

- ① タイヤが空転する様に、台の上にR/Cカーを置きます。
- ② スピードコントローラのスイッチがOFFになっている事を確認してから、モーターとバッテリーを接続します。
- ③ 送信機のアンテナを伸ばし、スイッチをONにします。(送信機の電圧が下がっていると危険です。常に電圧の高い状態で使用して下さい。)
- ④ 受信機のスイッチをONにします。

走行終了手順

- ① スピードコントローラのスイッチをOFFにします。
- ② バッテリーの接続を外します。
- ③ 送信機のスイッチをOFFにし、アンテナを縮めます。

バッテリーの取り扱い

- (バッテリーに付属の説明書に基づき使用して下さい。)
- バッテリーを充電する際は、周囲に燃えやすい物のない安全な場所で行って下さい。又、高温な場所での充電も避けて下さい。
 - バッテリーの充電中は充電状況を常に確認して下さい。充電器の誤動作などで過充電すると、最悪の場合は発火する危険性があります。バッテリー温度が50度を越えたら充電を中止して下さい。
 - 走行後のバッテリーは高い温度になります。連続使用するとバッテリーを傷める事になりますので、冷却期間を置いてから充電して下さい。又、走行後のバッテリーはコンディション放電する事によって、性能を持続させる事が出来ます。
 - 不要になったバッテリーは一般的ゴミと一緒に捨てずに、お手数でも電池専用の回収箱に捨てて下さい。

モーターの取り扱い

- (モーターに付属の説明書に基づき使用して下さい。)
- 7.2Vのバッテリーでモーターのから回しをすると危険です。モーター内部を破損し部品が飛び出す事も考えられますので、もしモーターのブレーキインをする時は、モーターをしっかりと固定し3~5V程度でから回して下さい。
 - モーターは定期的なメンテナンスが必要です。劣化するとスピードが出なくなったり、走行時間が短くなります。定期的にクリーニングしたり、ブラシが減ってきたら交換する等のメンテナンスをして下さい。
 - モーターの性能に合ったギヤ比を選択して下さい。ギヤ比が最適でないとモーターの性能を十分に発揮出来ないだけでなく、他のR/Cメカを壊す原因になります。
 - 走行後のモーターは非常に高い温度になります。連続走行するとモーターを傷める事になりますので、冷却期間を置いてから走行して下さい。

PRECAUTIONS FOR SAFE ENJOYMENT OF YOUR R/C CAR

For children under the age of 13, parental guidance is recommended when running.

ASSEMBLY PRECAUTIONS

- Do not assemble around small children. The parts can be dangerous if accidentally swallowed.
- Check the contents carefully before assembly. Please contact Customer Support if you happen to notice any defective or missing items.
- You will find the assembly process much easier by carefully reading through the manual, and familiarizing yourself with the instructions.
- Many different tools are required during assembly. For safety purposes, please use suitable tools. Exercise extra caution when using a sharp tool such as a hobby knife.
- Many different materials are used for the parts. Use extra care when handling parts with sharp edges, such as machined metal parts.
- When cutting plastic parts, watch for any flying parts.
- Try to assemble any rotating parts or drivetrain parts as smooth as possible.
- Bundle wires neatly away from the ground or any moving drivetrain components. Make sure that all wires are properly connected to prevent shorting.
- Unnecessary modifications may be unsafe and hinder performance.
- Always paint in a well ventilated area away from flames.

PRECAUTIONS BEFORE RUNNING

- Yokomo R/C cars are built for competition use, and some models may exceed speeds of 40km per hour. Practice common sense and run the car in open safe places, or R/C car tracks.
- Do not run the car on public roads with high amounts of traffic, or in areas that may cause an inconvenience to people in that area.
- R/C cars are controlled using a radio frequency. In a worst-case scenario, radio interferences may cause loss of control.
- If others near you are running R/C cars, confirm that they are not running on the same frequency.
- R/C cars do not like water. Avoid running on rainy days, or areas with water puddles. Exposure of the electronics to water may cause loss of control or damage to the electronics.
- The drivetrain of an R/C car consists of many moving parts like gears, belts, shafts, and tires. Avoid touching these areas when the battery is connected.
- Many parts of an R/C car will become hot after running. Allow the parts to sufficiently cool before conducting any maintenance.

BEGINNING A RUN

- ① Place the R/C car on a stand so the wheels are off the ground.
- ② Confirm that the speed controller switch is OFF, and connect the motor and battery.
- ③ Extend the transmitter antenna and turn the switch ON. (It is unsafe to use a transmitter with low voltage. Make sure that the transmitter batteries are good before running)
- ④ Turn the speed controller switch ON.

FINISHING A RUN

- ① Turn the speed controller switch OFF.
- ② Disconnect the battery.
- ③ Turn the transmitter switch OFF, and retract the antenna.

BATTERY USAGE

- (Carefully read the instruction included with the batteries.)
- When charging batteries, make sure that the surrounding area is void of anything highly flammable. Also avoid charging in high-temperature locations.
 - When charging batteries, frequently monitor the charging it catch on fire. If the battery reaches 50 degrees Celcius or more, stop charging.
 - Batteries will become hot after running. Continuous use of the battery pack may result in damage to the cells. Allow the battery too cool down before re-charging. Using a battery conditioner after running may prolong the life and performance of the battery.
 - Please do not discard old battery packs in the trash. Although inconvenient, please locate a battery disposal center.

MOTOR USAGE

- (Carefully read the instruction included with the motor.)
- Connecting a 7.2V battery directly to the motor can be very dangerous. This may cause the internal parts of the motor to break apart, causing some parts to fly out of the motor. To break-in the motor, safely secure the motor and run the motor at about 3-5V.
 - Motors require periodic maintenance. Slower speeds and decreased run times may indicate a worn-out motor. Periodically clean the motor and change the brushes when needed.
 - Choose a gear ratio that matches the power characteristics of the motor. Using a gear ratio unsuited to the characteristics of the motor will not only prevent the motor from performing at its optimum, but may even cause damage to the other electronics.
 - Motors will generally become very hot after running. Continuous running will reduce the life of the motor. Allow the motor to sufficiently cool between each run.

【組み立てに必要な物】

ACCESSORIES AND TOOLS NEEDED FOR [DRIFT RACER] ASSEMBLY

■ 走行の為に別にお買い求め頂く物 ■

(組立済キットでは必要ありません)

ADDITIONAL ITEMS REQUIRED FOR USE (NOT INCLUDED IN KIT)

- 2チャンネルプロポ (1サーボ 1アンプ仕様)
**TWO CHANNEL R/C SURFACE RADIO SYSTEM
AND ELECTRONIC SPEED CONTROL**
- 走行用 7.2V バッテリーパック
7.2V BATTERY PACK
- 走行用バッテリー充電器
BATTERY CHARGER
- 走行用モーター
MOTOR
- タイヤ(タイヤ付キットは不要)
TIRES
- 走行用ボディー(ボディー付キットは不要)
BODY
- ボディー塗装用カラー
BODY SPRAY PAINT

■ 袋以外の箱に入っている物 ■

(組立済キットでは入っていません)

PARTS INCLUDED IN KIT

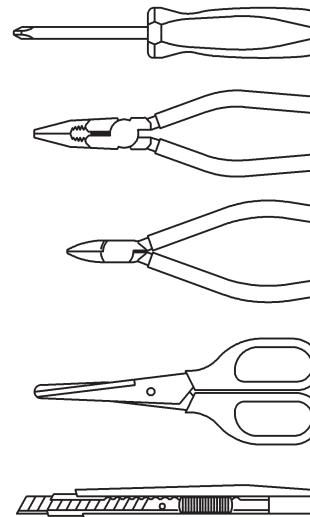
- | | |
|-----------|---------------------|
| ● バンパー | BUMPER |
| ● ホイール | WHEELS |
| ● タイヤ | TIRES |
| ● メインシャーシ | MAIN CHASSIS |

[DRIFT RACER]の性能を十分に発揮させる為にイラストを
良く参照し説明の順番に従って確実に組み上げて下さい。

For assembly, follow the figures and the instructions closely
so that your [DRIFT RACER] will perform at its best!!

■ 別途用意する工具 ■

ASSEMBLING TOOLS REQUIRED (NOT INCLUDED IN KIT)



ドライバー (大,小)
SCREW DRIVER (SMALL & LARGE)

ラジオペンチ
NEEDLE NOSE PLIERS

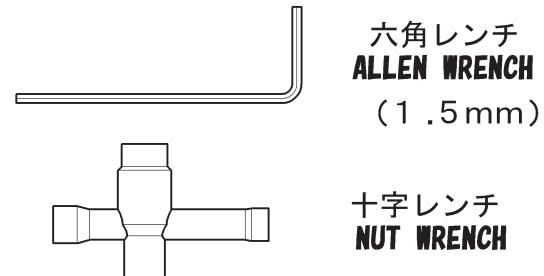
ニッパー
SIDE CUTTER

ハサミ
SCISSORS

カッター
HOBBY KNIFE

■ キットに入っている工具 ■

TOOLS (INCLUDED)



六角レンチ
ALLEN WRENCH
(1.5 mm)

十字レンチ
NUT WRENCH

【 使用する部品内容 】

--×8 M3×12皿タッピングビス

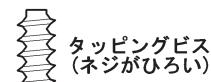
--×2 フロントサスマウント

--×2 リアサスマウント

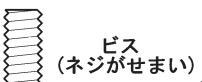
【取付け前にちょっと注目！】

キットにはネジ部分が違う2種類のビスが入っています。
使用個所を間違わないように十分注意して下さい。

※金属パーツにタッピングビスは使用できません。

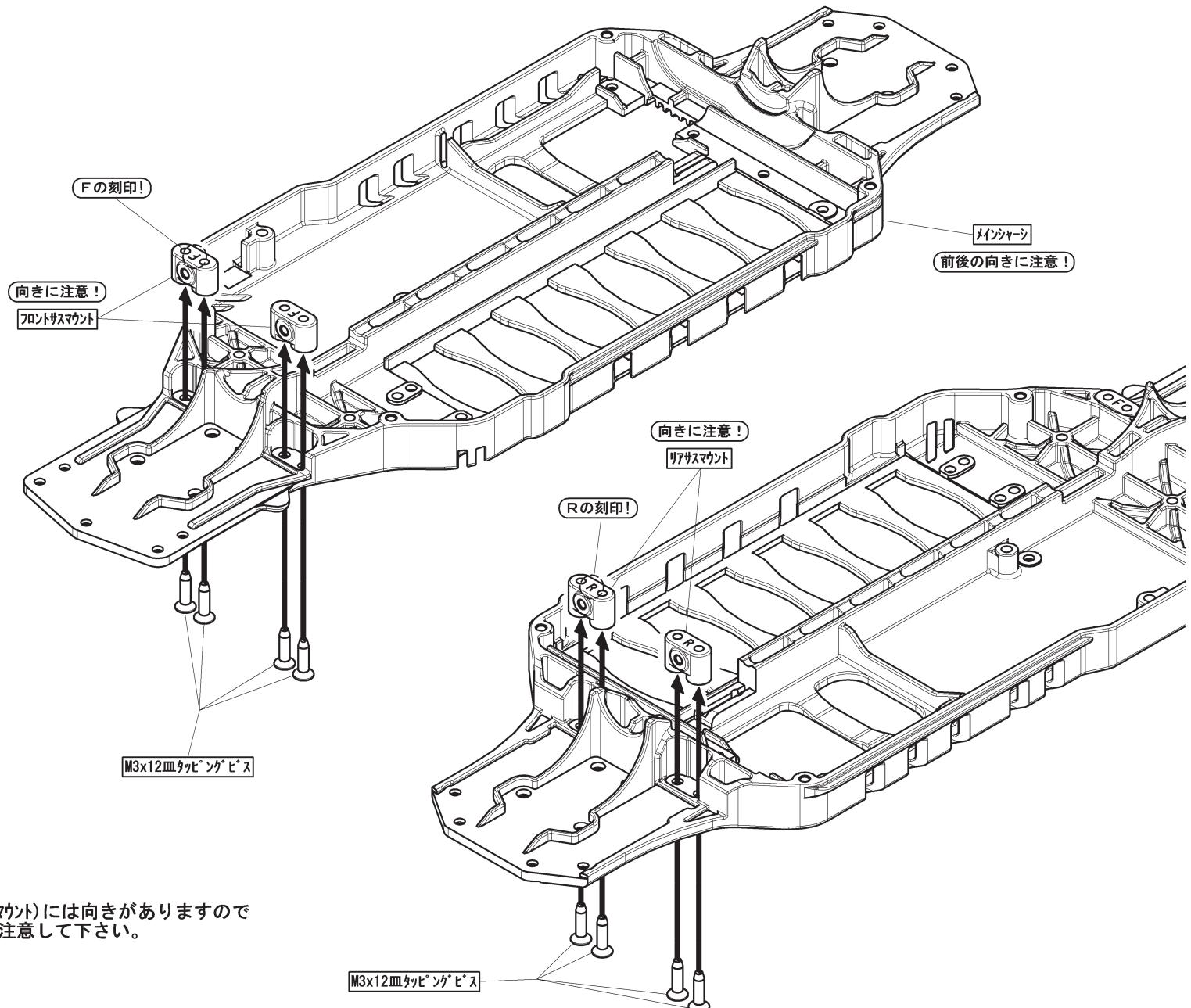


タッピングビス
(ネジがひろい)



ビス
(ネジがせまい)

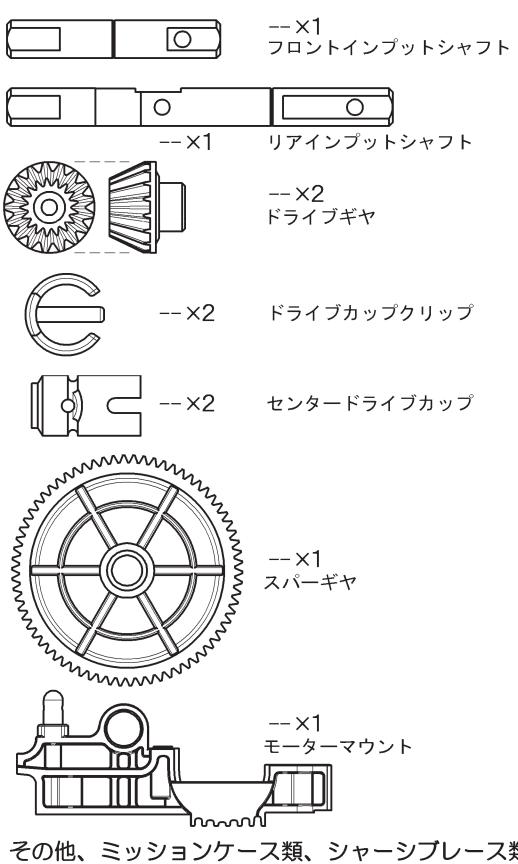
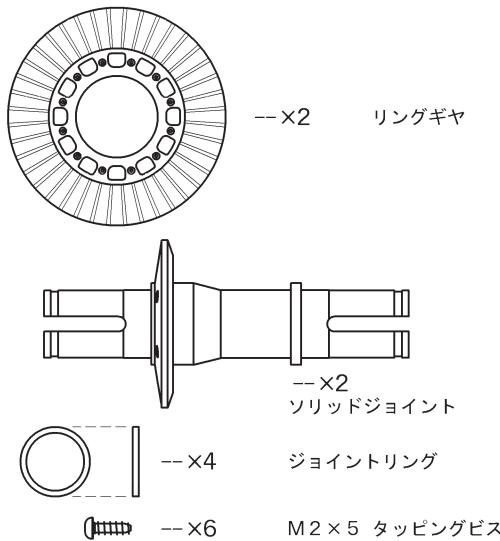
1 前後サスマウントの取付



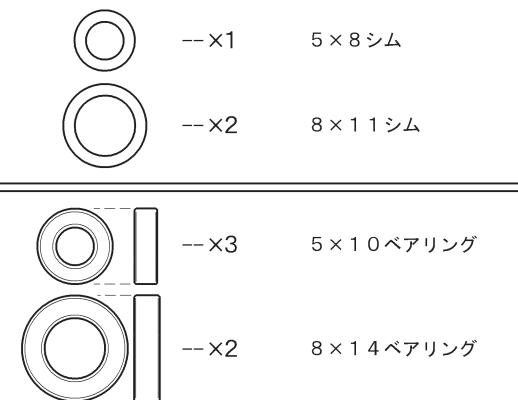
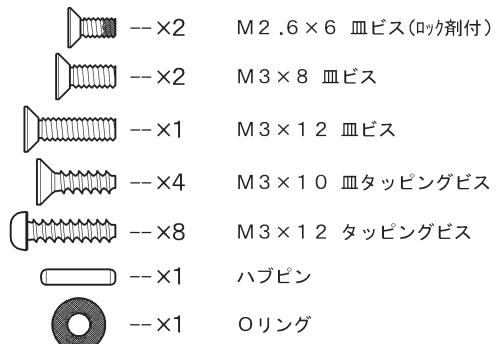
注意！—(フロント&リアサスマウント)には向きがありますので
取付時には注意して下さい。

【 使用する部品内容 】

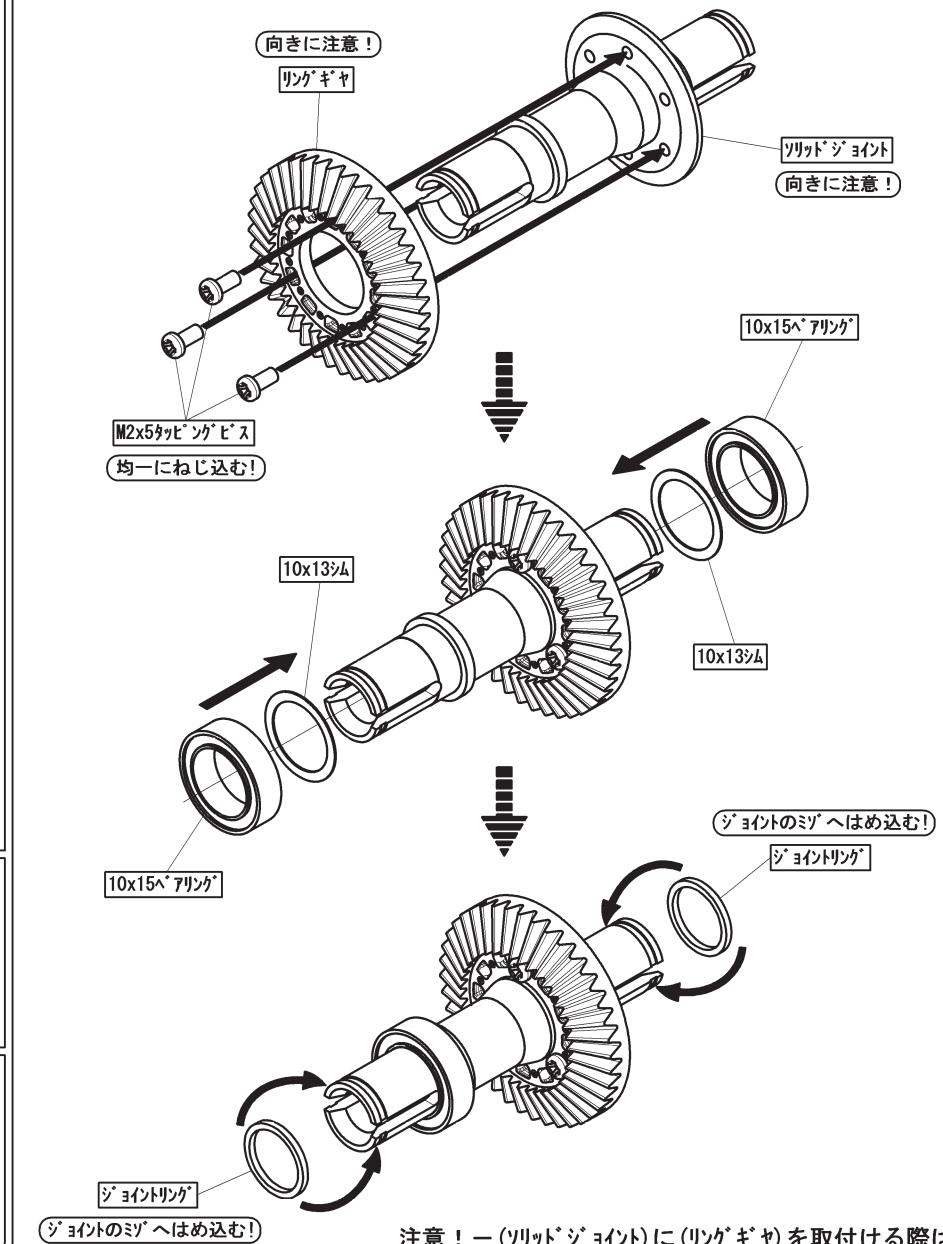
[ソリッドジョイント用パーツ]



[ミッションギヤ関連用パーツ]

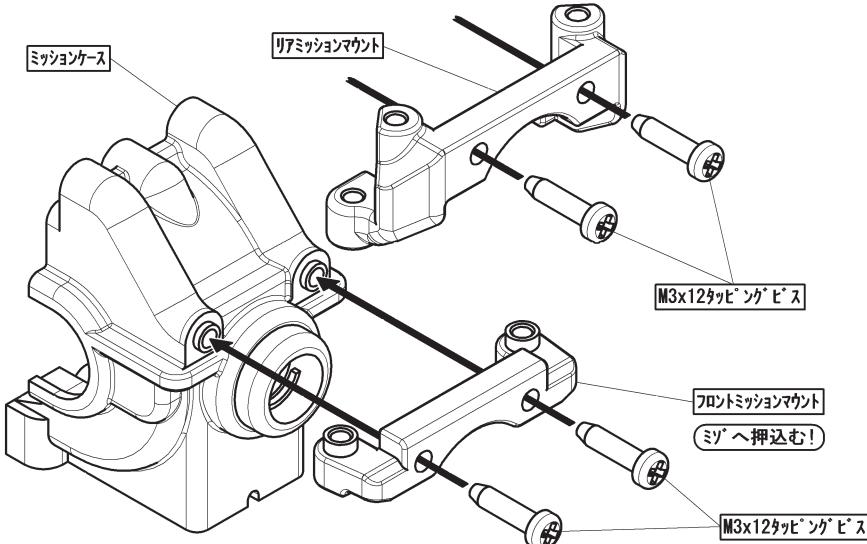


② ソリッドジョイントの組立て(2セット作ります)



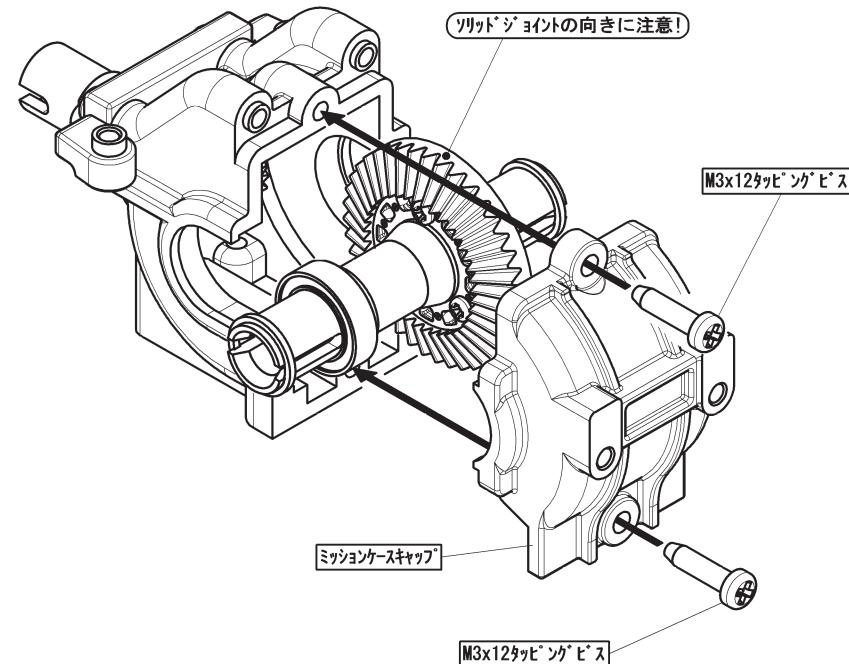
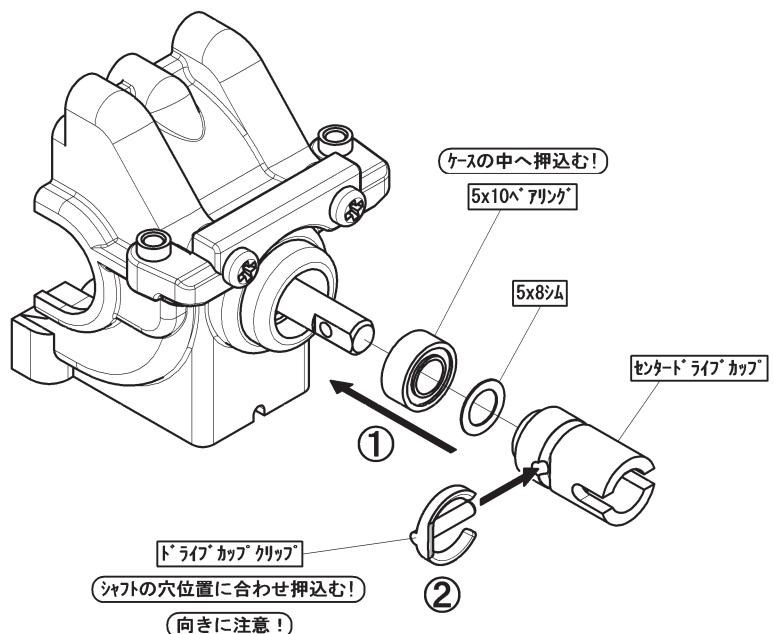
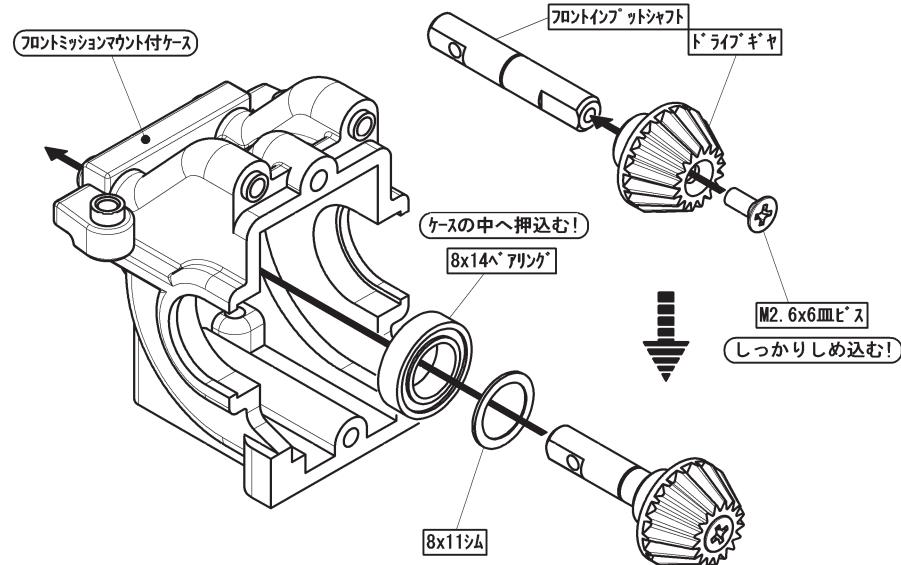
注意！—(ソリッドジョイント)に(リングギヤ)を取付ける際は、互いのネジ穴同士が合っている事を確認し、(M2x5タッピングビス)3本を均等に少しづつ、まんべんなくしめ付けて下さい。

3 フロントミッションケースの組立て

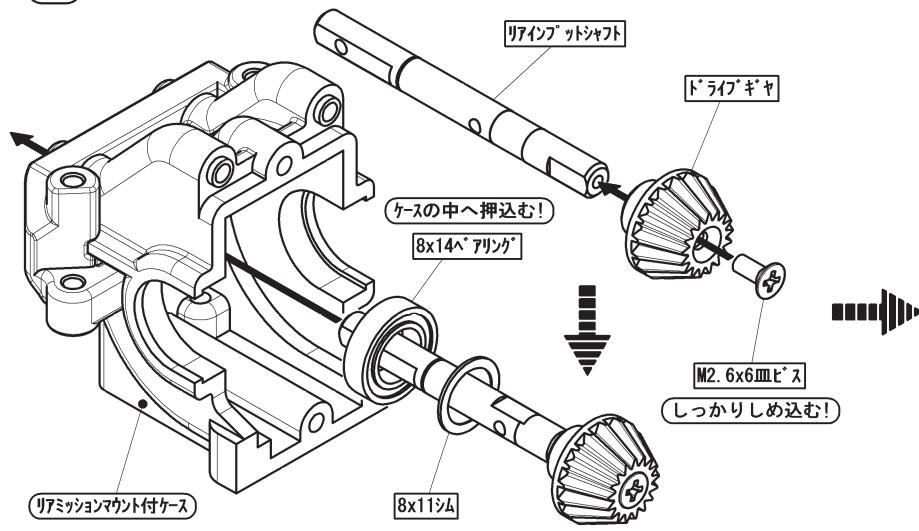


(ミッションケース)に(フロントミッションマウント)をはめ込み、(M3x12タッピングビス)で固定します。
同様に(リアミッションマウント)をはめ込んだ(ミッションケース)も作ります。(次ページで使用)

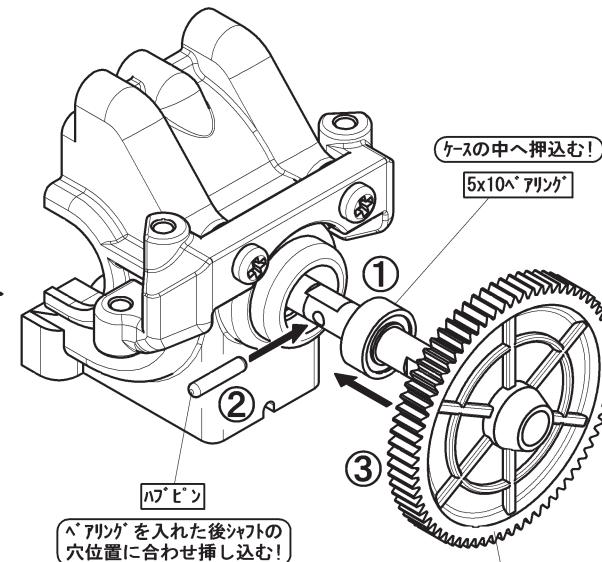
注意！— (M2.6x6皿ビス)は、しっかりとしめ込んで下さい。



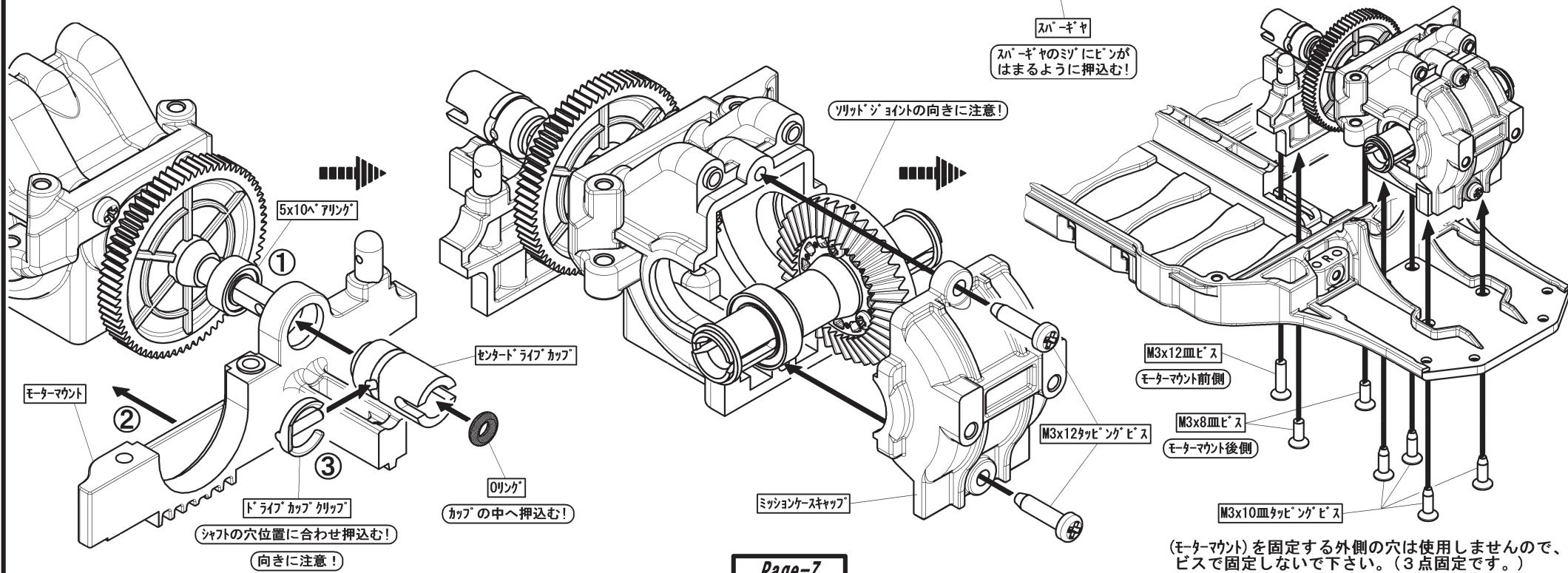
4 リアミッショングリップの組立て



注意！①(M2.6×6皿ビス)は、しっかりとしめ込んで下さい。

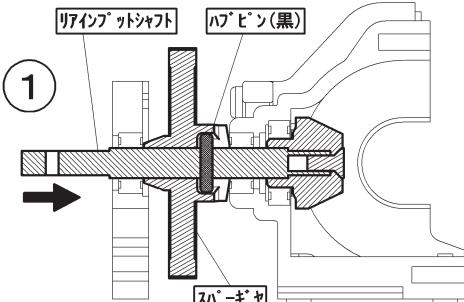


リヤインプットシャフトを引張った状態で
スパーギヤをケースに押し当てるよう
にしっかりと押し込んで下さい。

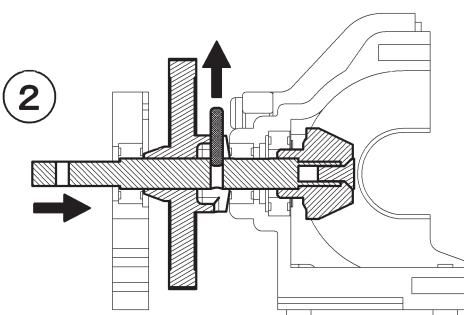


1ポイントアドバイス!

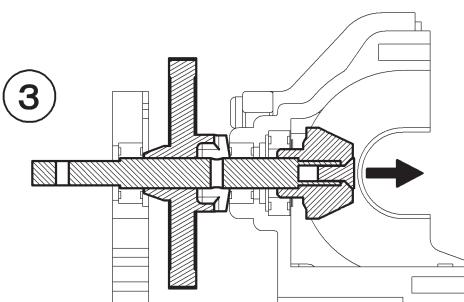
スパーギヤの取外し方



ミッショングエスキャップ、リジットジョイント、センタードライブカップを外しリヤインプットシャフトを後方へづらす。



スパーギヤのミゾからハブピンが見える位置までリヤインプットシャフトをズラしハブピンを抜く。
(ハブピンが抜けやすい場合は、薄くゴム系接着剤などを塗って下さい。)

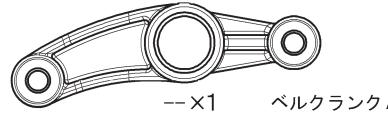


リヤインプットシャフトを完全に引き抜き
スパーギヤを上から抜く。
(再組立時は逆の手順で行います。)

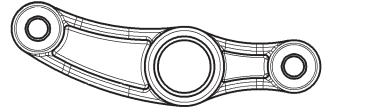
【 使用する部品内容 】

--×3 ロッドエンドボール

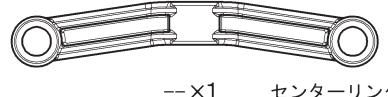
--×2 キングpin



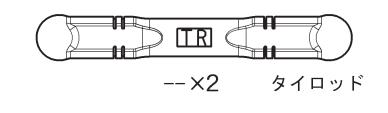
--×1 ベルクランクA



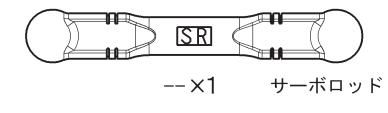
--×1 ベルクランクB



--×1 センターリンク



--×2 タイロッド

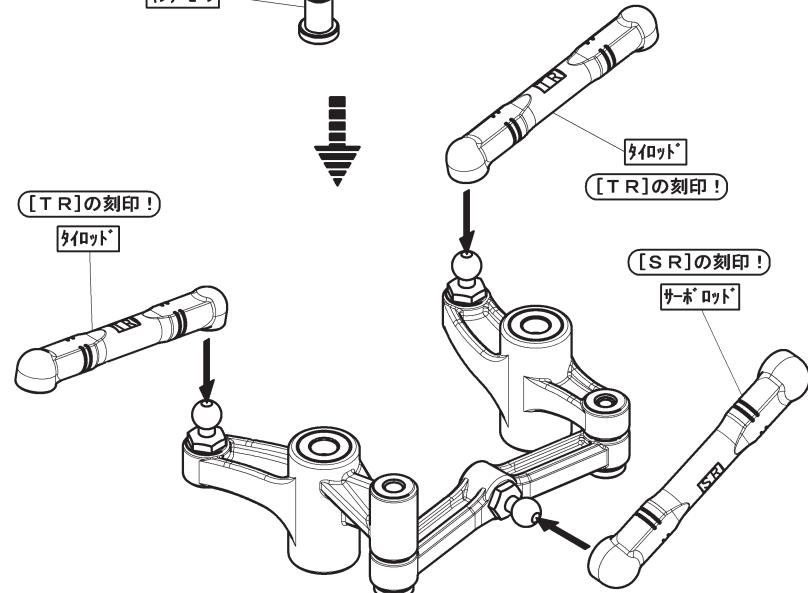
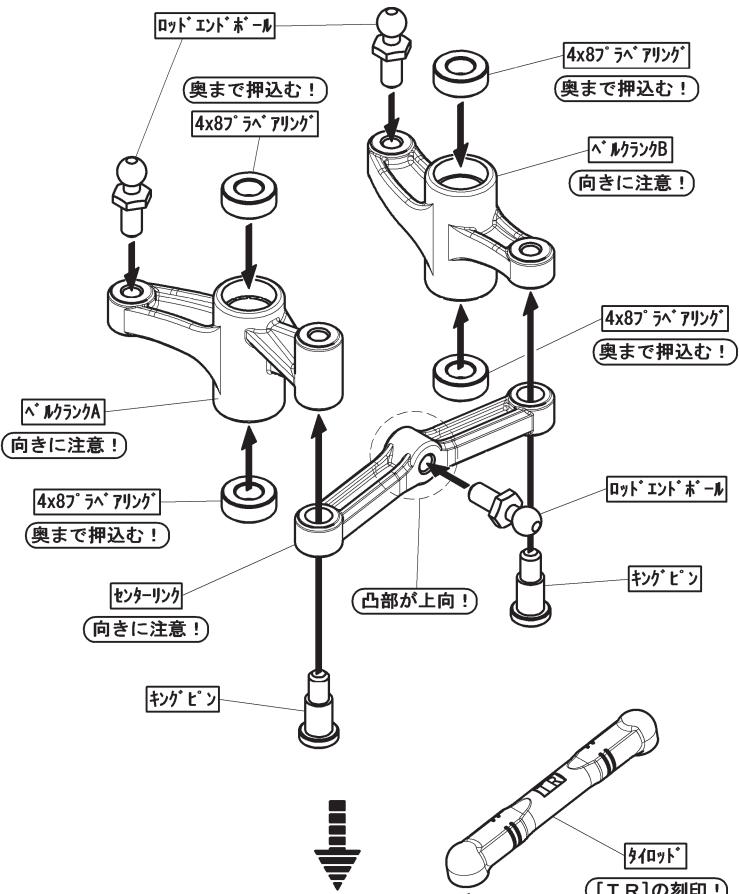


--×1 サーボロッド



--×4 4×8 プラベアリング

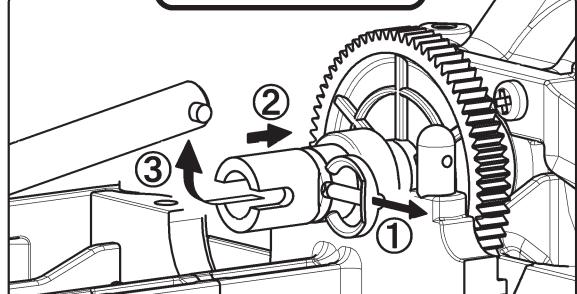
5 ベルクランクの組立て



【 使用する部品内容 】

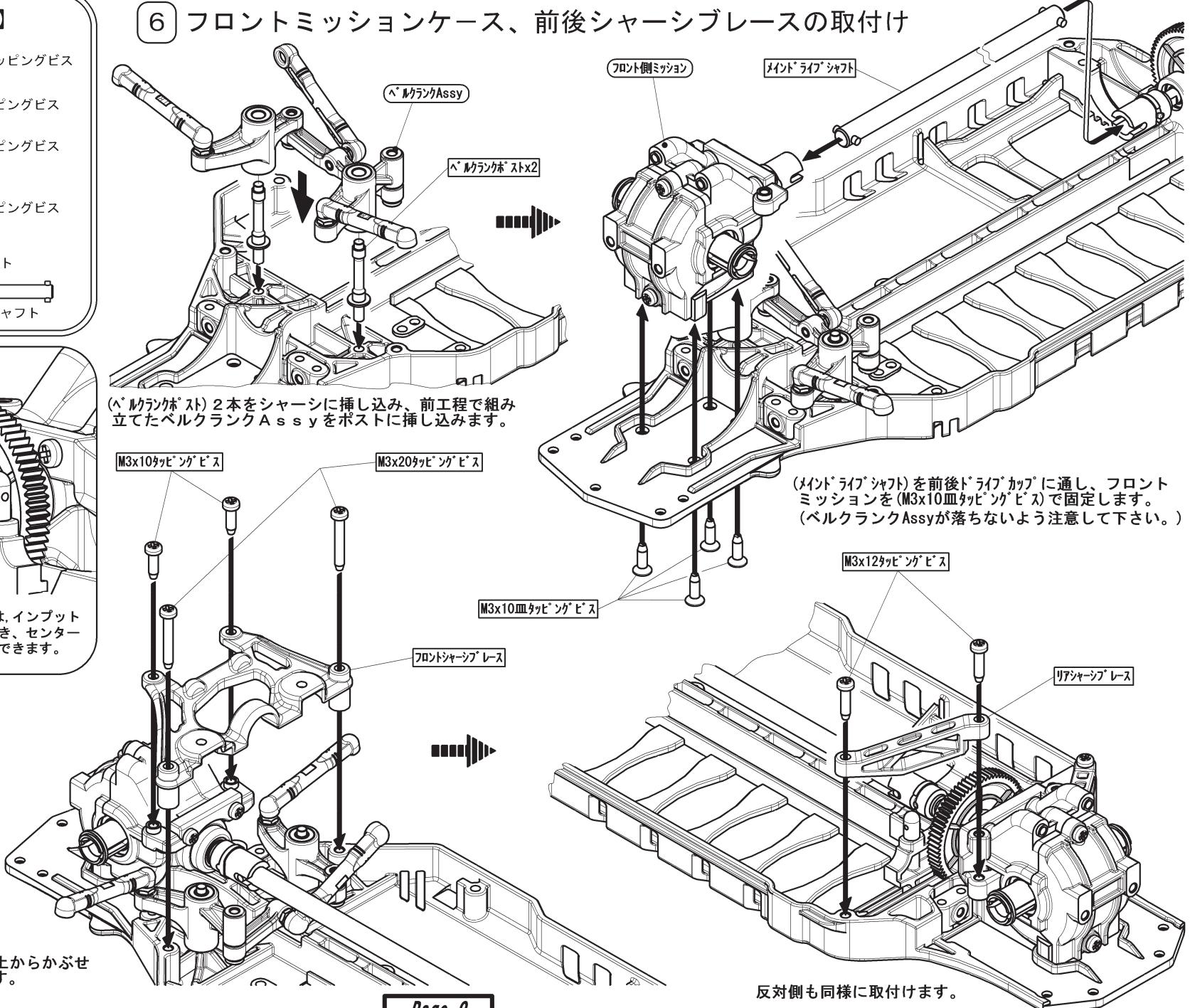
	--x4	M3×10 フラットヘッドビス
	--x2	M3×10 カウンターリングビス
	--x4	M3×12 カウンターリングビス
	--x2	M3×20 カウンターリングビス
	--x2	ベルクランクポスト
	--x1	メインドライブシャフト

1ポイントアドバイス！

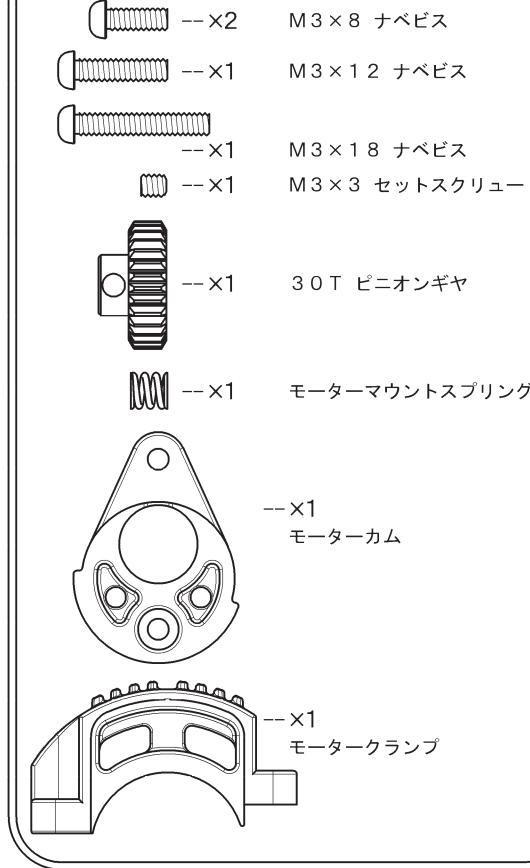


組立後、メインドライブシャフトを抜取る場合は、インプットシャフトからドライブカップクリップを引き抜き、センタードライブカップをズラスことで簡単に取ることができます。

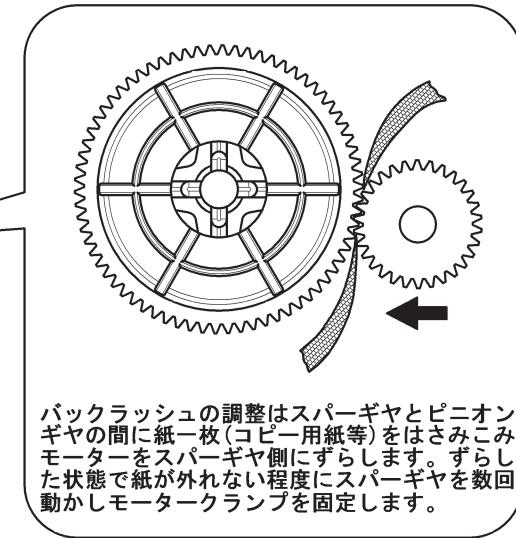
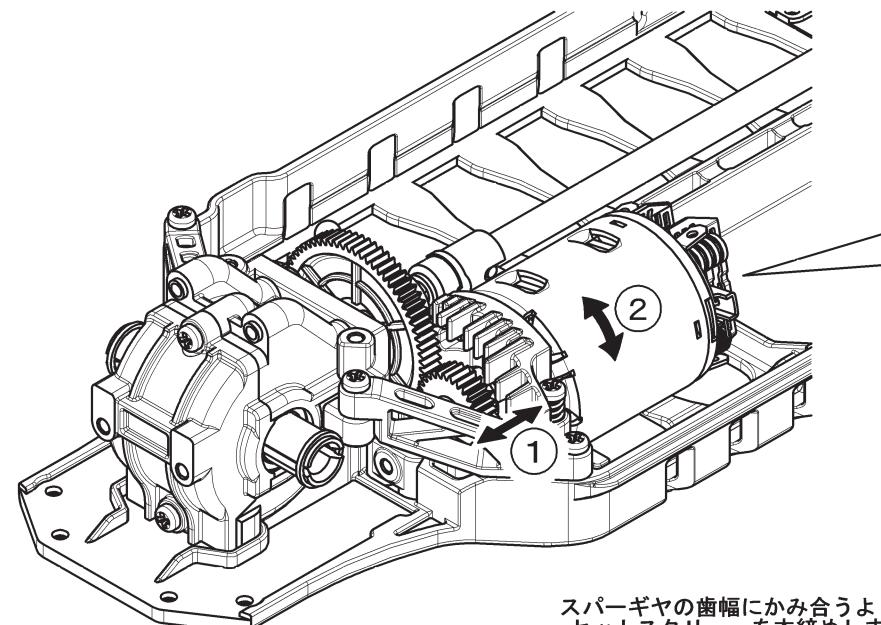
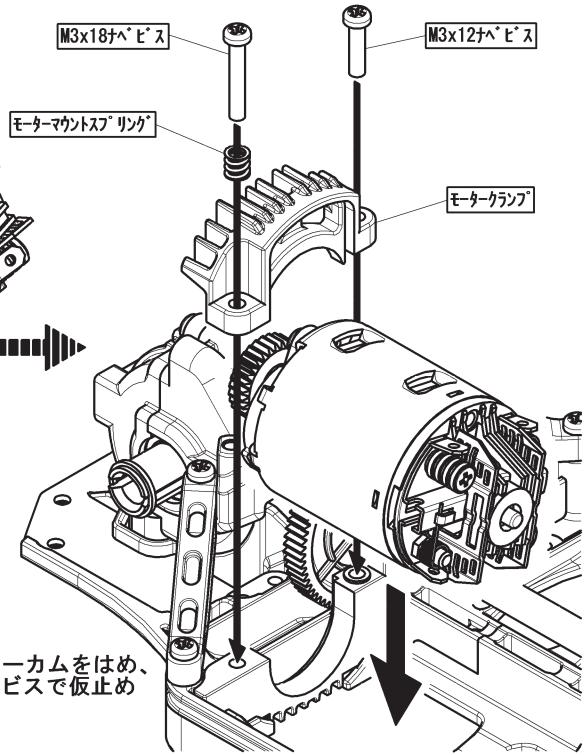
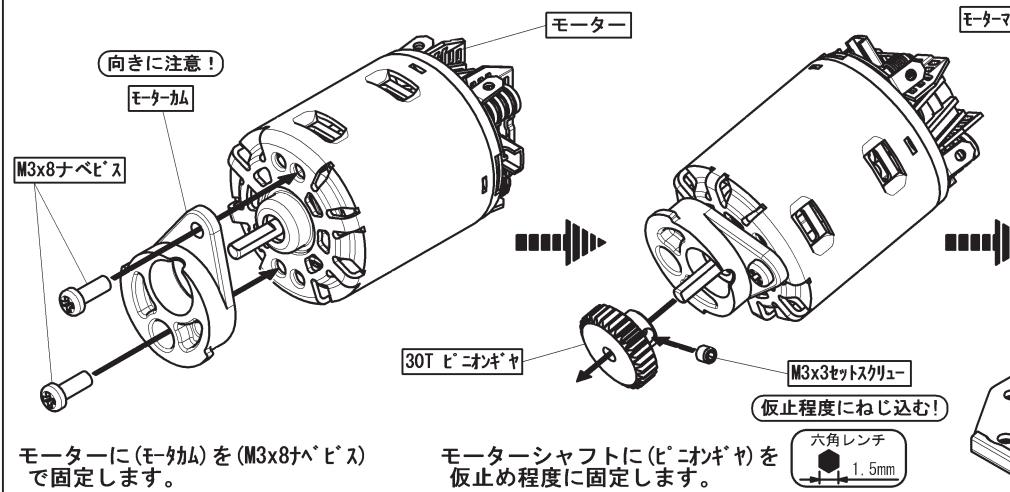
⑥ フロントミッションケース、前後シャーシブレースの取付け



【 使用する部品内容 】



7 モーター、ピニオンギヤの取付け



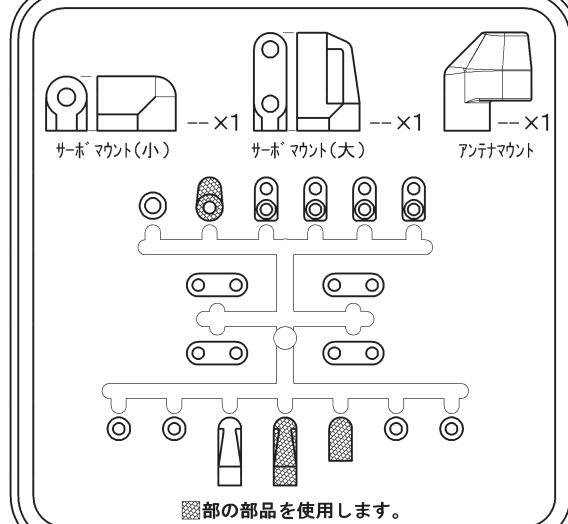
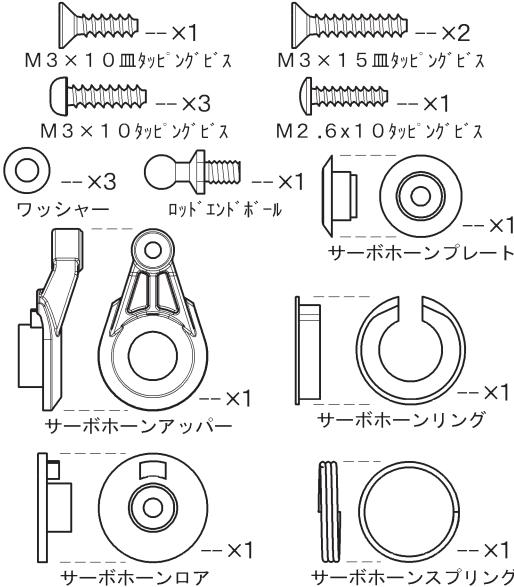
注意！①ピニオンの取付けは、モーターシャフトの(Dカット)されている部分に、セットスクリューが当たる様にしっかりと締め込んで下さい。

②バックラッシュは少し隙間が出来る程度に調整して下さい。(調整不足は、ノイズ及びギヤ破損の原因になります。)

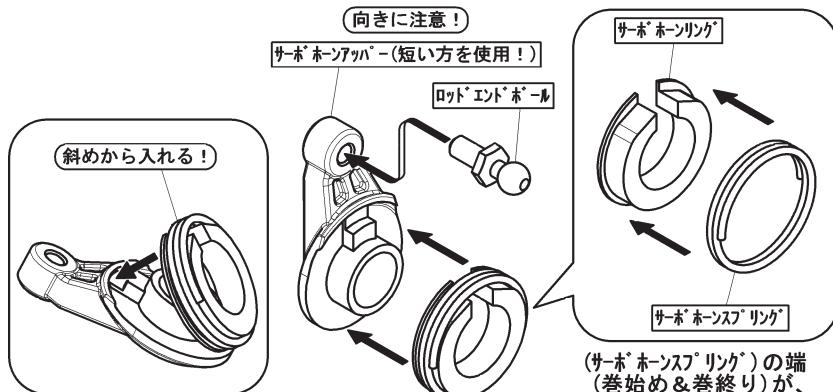
③連続走行はモーターに必要以上の負荷を掛けるだけでなく寿命も短くなりますので、完全に冷えた事を確認してから走行をさせて下さい。

スペーザギヤの歯幅にかみ合うようにピニオンギヤの位置を調整し、
セットスクリューを本締めします。最後にバックラッシュを合わせ
M3×12ナベビスを先にしめ込んだ後、M3×18ナベビスを
スプリングが密着する位までしめ込み、そこから1回転戻します。

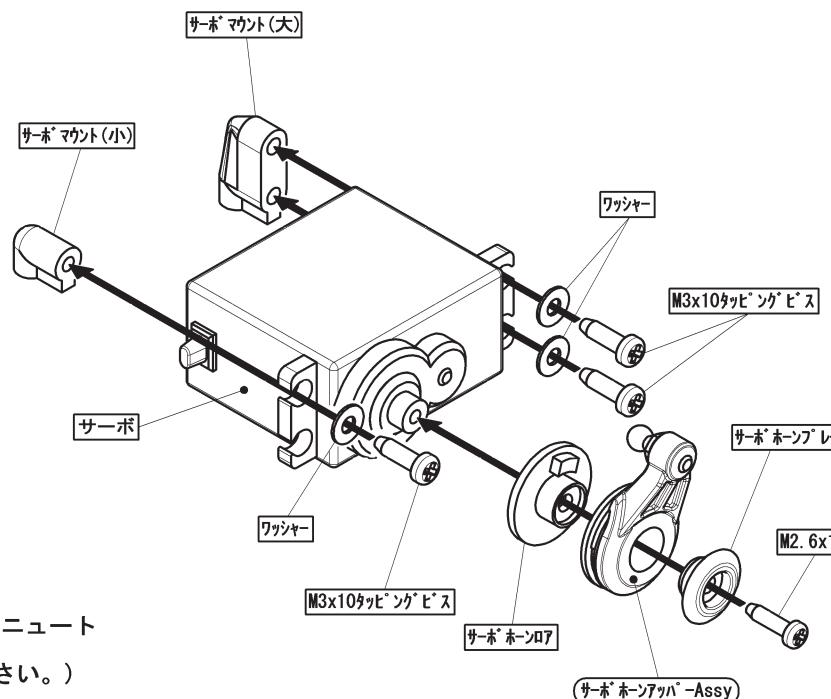
【 使用する部品内容 】



8 サーボセーバー、サーボの取付け

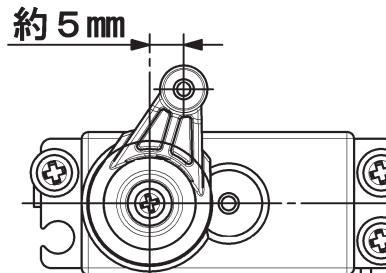


(サーボホーンアッパー)は2種類付属されていますが、全長の短い方を使用します。
(サーボホーンリング)のはめ込みが固い場合は、イラストの様に斜めから入れて下さい

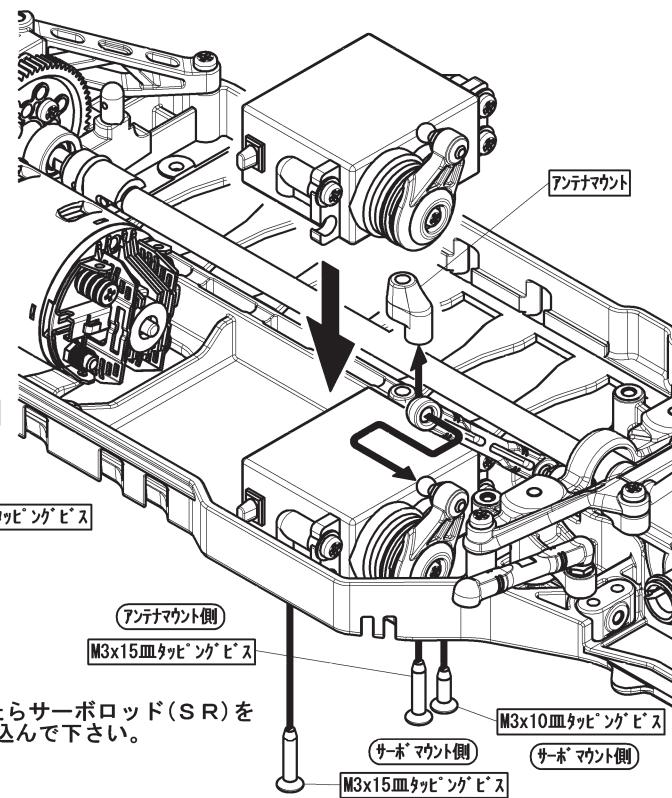


刻印	メーカー
Y	ヨコモ S005
YF	ヨコモ S003, フタバ
JKS	JR, KO, サンワ

付属の(サーボホーンロア)には刻印が入っています。
ご使用になるメーカーに合わせてお選び下さい。



サーボのニュートラルを出した後、イラストのようにサーボホーンを約5mm(1山分)ずらして取付けて下さい。



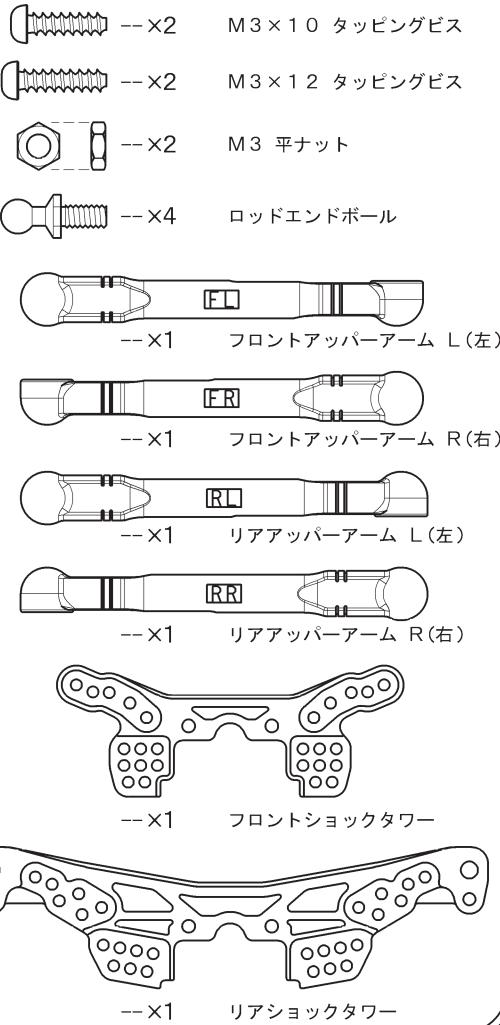
注意! ①(サーボホーンロア)を取付ける前に必ず、サーボのニュートラルを出して下さい。

(詳しくはプロポセットの説明書をご覧下さい。)

②キット付属の(サーボホーンロア)は3種類用意されています。
必ずご使用になるサーボ(メーカー)に合ったホーンをお使い下さい。

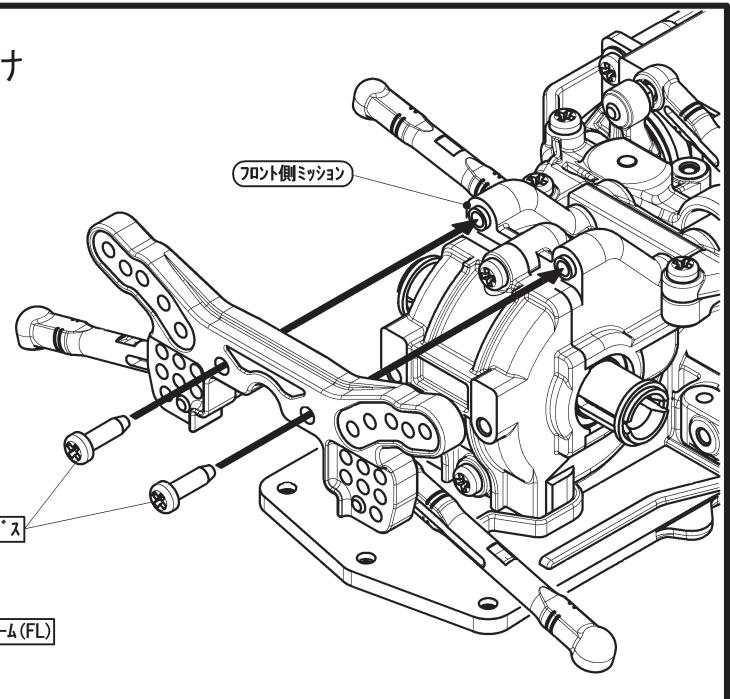
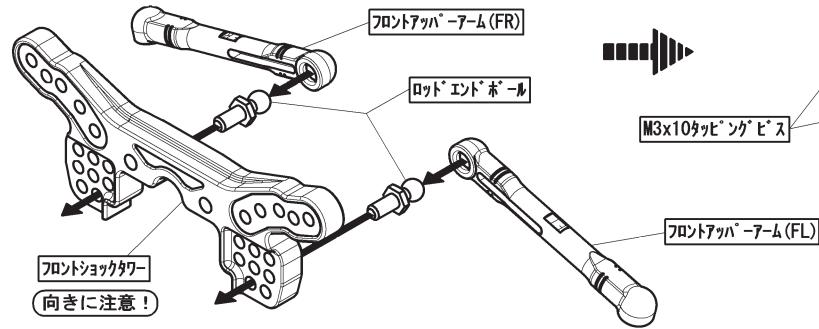
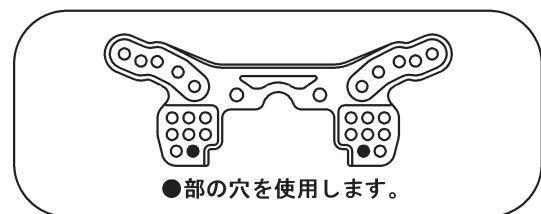
(形が合わないサーボホーンを使うとサーボに無理な力が掛かり、故障の原因になります。)

【 使用する部品内容 】

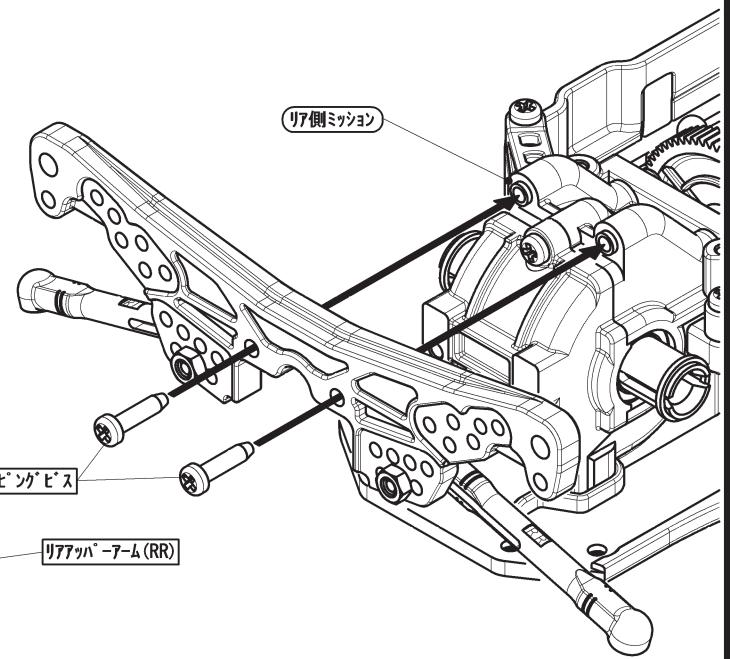
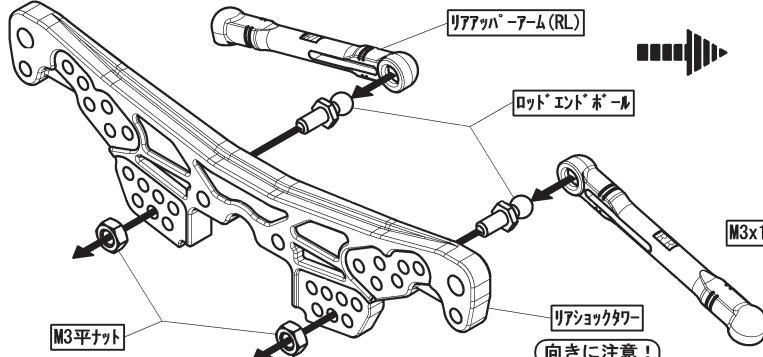
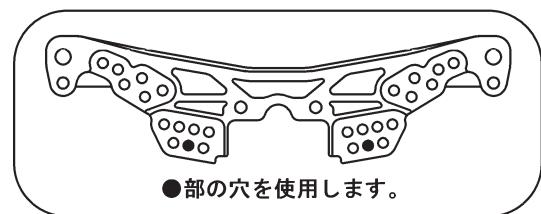


9 アッパーーム、ショックタワーの取付け

フロントショックタワー取付け



リアショックタワー取付け

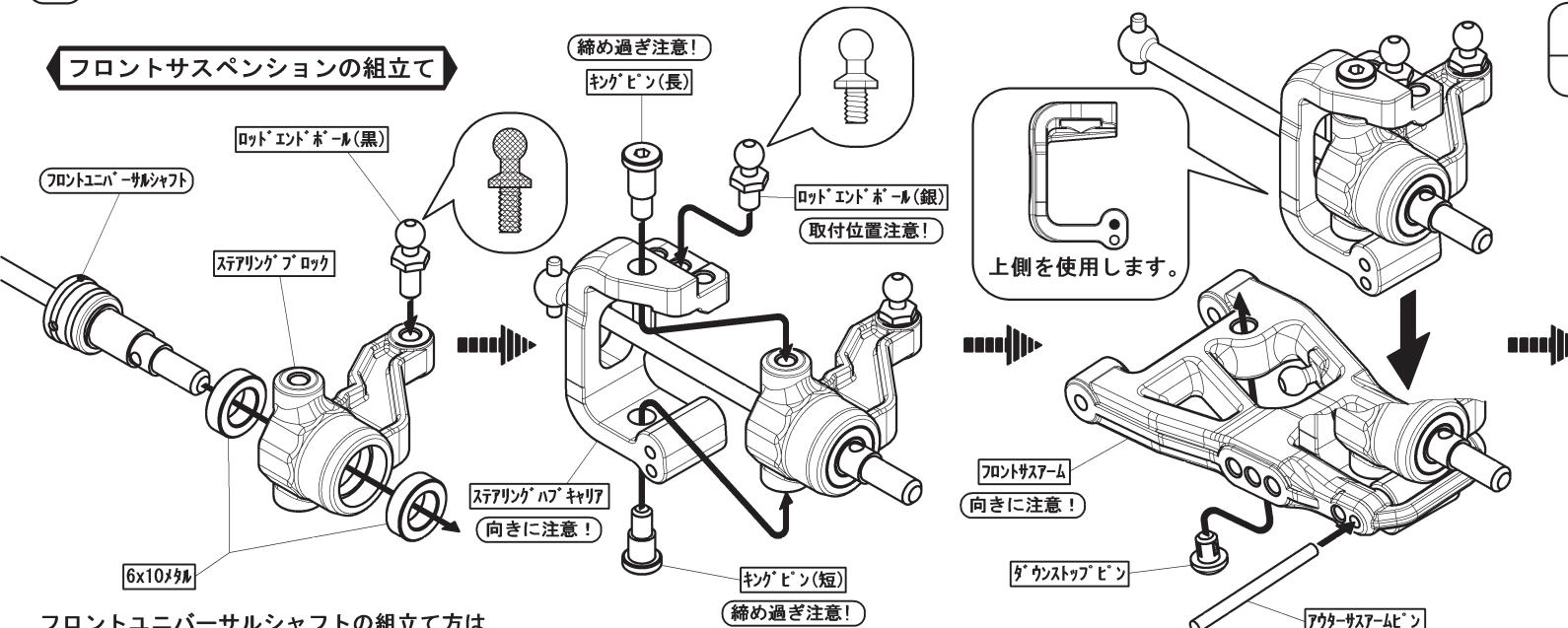


ロッドエンドボールをショックタワーに取付後、前後アッパーームをはめ込み、ミッションケース凸部にしっかりとはめ込みビスで固定して下さい。

注意！－前後ショックタワーには取付け向きがありますので注意して下さい。

10 フロント&リアサスペンションの組立て

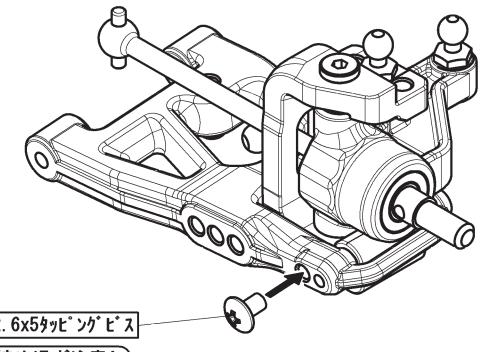
フロントサスペンションの組立て



フロントユニバーサルシャフトの組立て方は
次ページのイラストを参照して下さい。

より駆動効率が向上するローフリクションタイプの
ユニバーサルドライブシャフトも用意されています。

ZS-010RS リア L.F. エンバーサルドライブシャフト (2ヶ入)

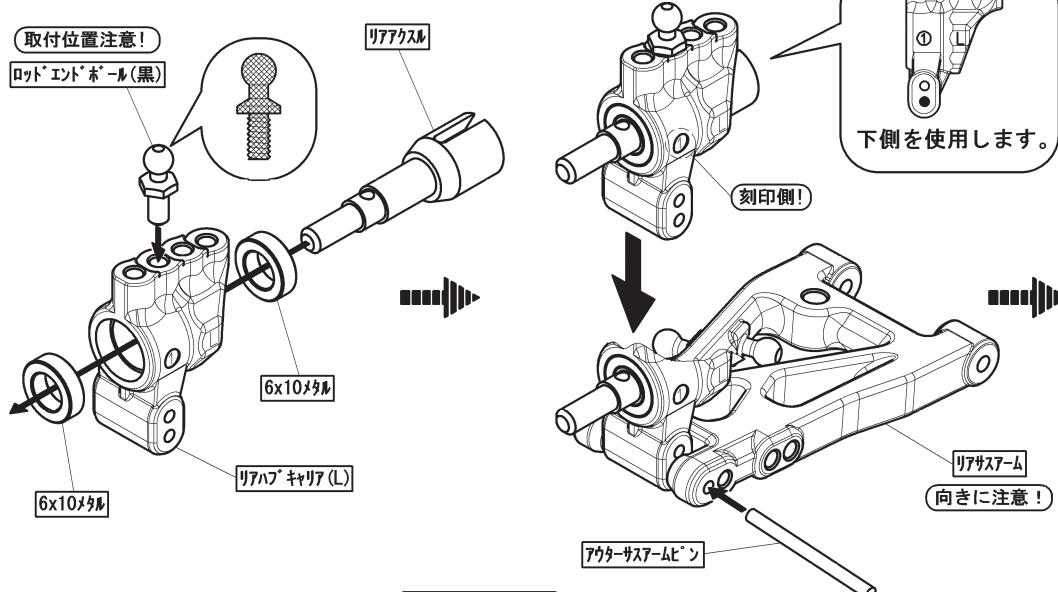


【反対側も対称に組立てます。】

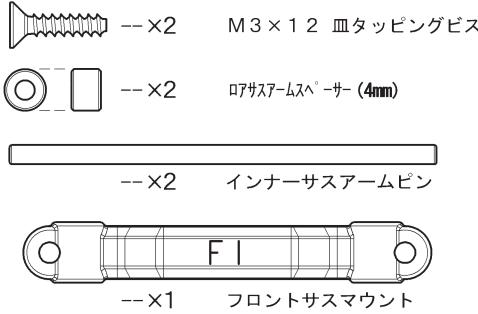
【 使用する部品内容 】

	-- ×2	フロントユニバーサルシャフト
	-- ×2	リアアクスル
	-- ×4	ロッドエンドボル (黒) (Rod End Ball (Black))
	-- ×2	ロッドエンドボル (銀) (Rod End Ball (Silver))
	-- ×2	キングピン (長) (King Pin (Long))
	-- ×2	キングピン (短) (King Pin (Short))
	-- ×2	ダウンストップピン (Down Stop Pin)
	-- ×4	M2.6×5タッピングビス (M2.6x5 Tapping Screw)
	-- ×4	アウターサスアームピン (Outer Suspension Arm Pin)
その他、フロントハブキャリア ×2、ステアリングブロック ×2 リアハブキャリア ×2、前後ロアサスアーム ×各2		
	-- ×8	6×10メタル (6x10 Metal)

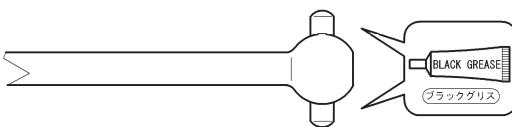
リアサスペンションの組立て



【 使用する部品内容 】



【取付け前にちょっと注目！】



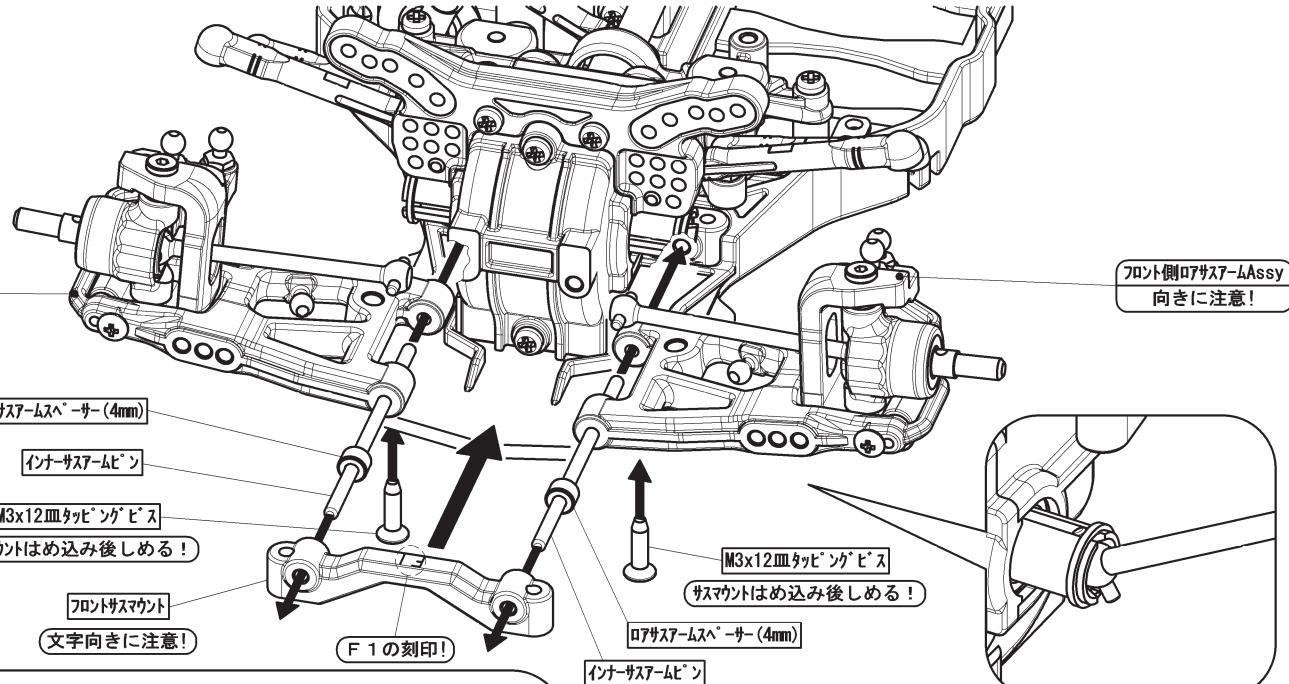
- ・フロント、及びリアドックボーンシャフトのピンには必ず(ブラックグリス)を塗る事。

注意！①ドックボーンシャフトのピンには必ず別売のブラックグリスを塗る様にして下さい。

②前工程で組立てたフロントロアサスアームには、左右の向きがあります。図を良く参照し間違いの無い様に組立てて下さい。

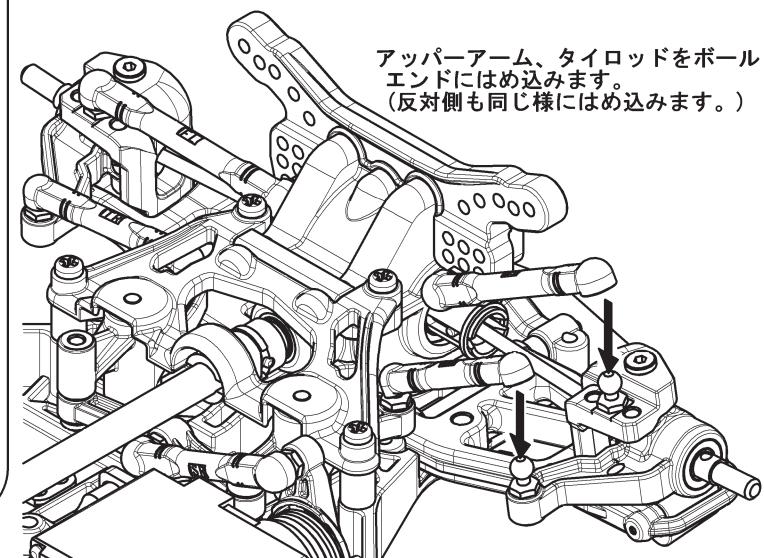
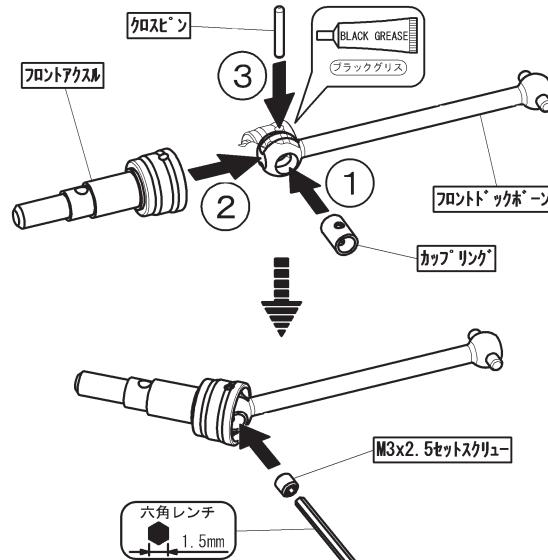
③フロントユニバーサルを組てる場合は右イラストを参照して下さい。その際必ず別売のブラックグリスを塗って下さい。
(分解する場合は逆の手順で行って下さい。)

11 フロントロアサスアームの取付け



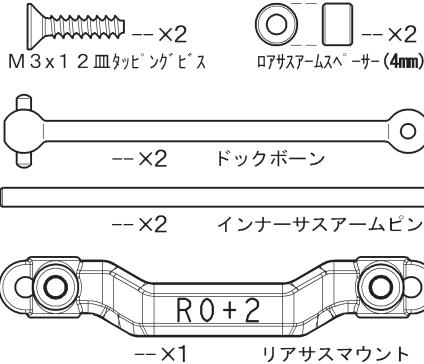
ソリッドジョイントにドッグボーンをはめた状態でサスアームピンをマウントにさしこみ固定して下さい。

フロントユニバーサルシャフトの組立て方

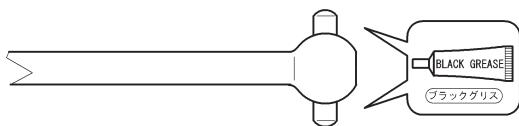


アッパーアーム、タイロッドをボールエンドにはめ込みます。
(反対側も同じ様にはめ込みます。)

【 使用する部品内容 】

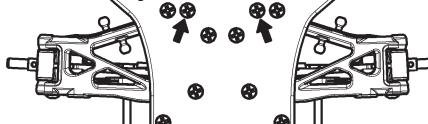


【取付け前にちょっと注目！】



・フロント、及びリアドックボーンシャフトのピンには必ず(ブラックグリス)を塗る事。

【取付け後に確認！】

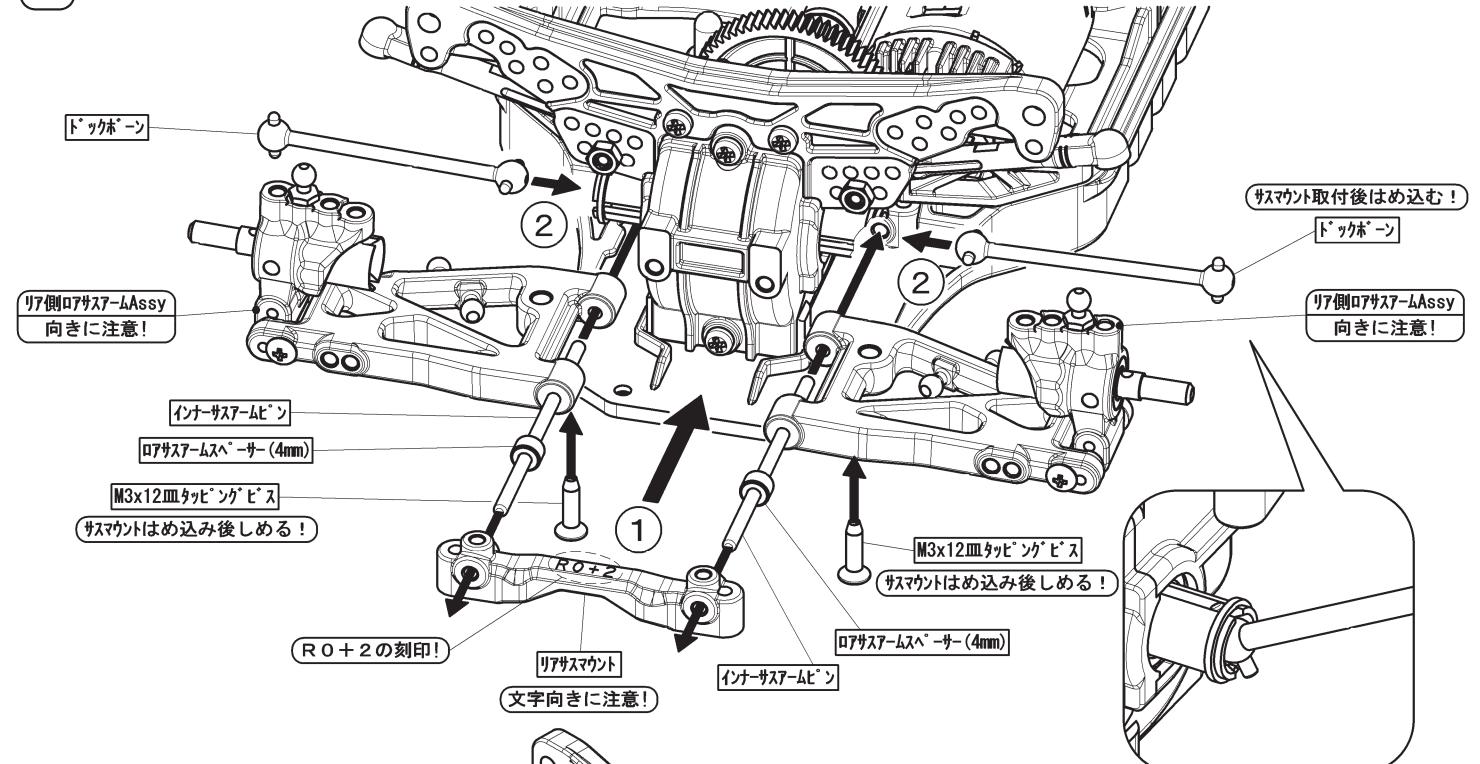


サスマウント取付ビスのしめ込み過ぎによるサスマウントピンの歪みが原因です。イラストで示すビス(2本)を一度ゆるめ、アームの作動を確認しながら直して下さい。あまり変化が見られないようでしたらこのビスを取り外して下さい。(ビスを取り外しても走行上の問題はありません。フロント側も同様に調整して下さい。)

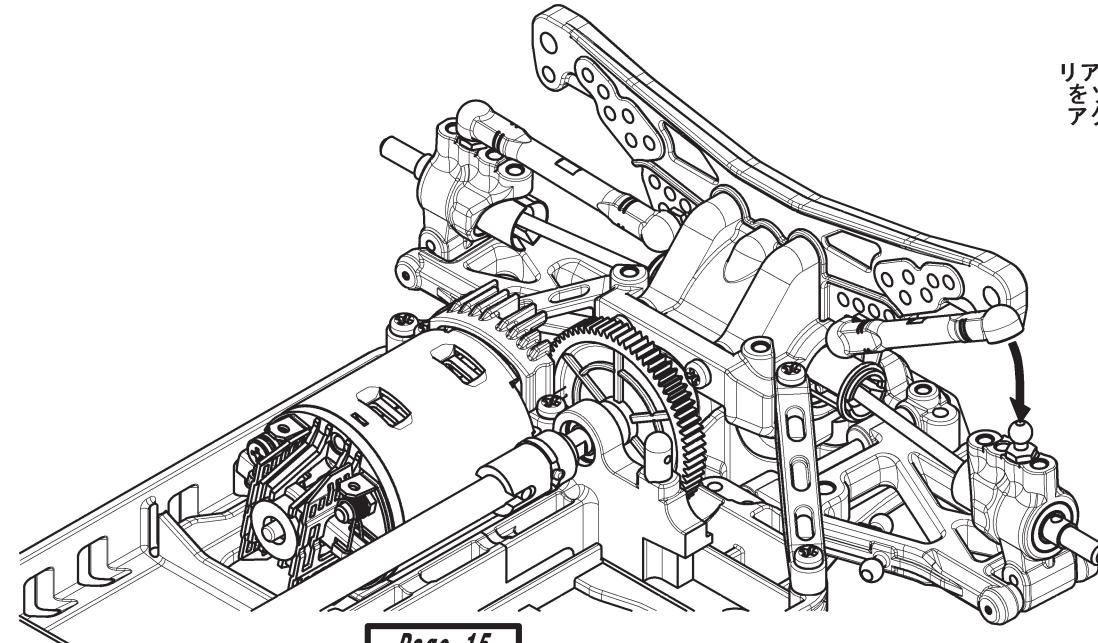
注意！①ドックボーンシャフトのピンには必ず、別売の
ブラックグリスを塗る様にして下さい。

②前工程で組立てたリアロアサスマウントには
左右の向きがあります。図を良く参照し
間違いの無い様に組立てて下さい。

12 リアロアサスマウントの取付け

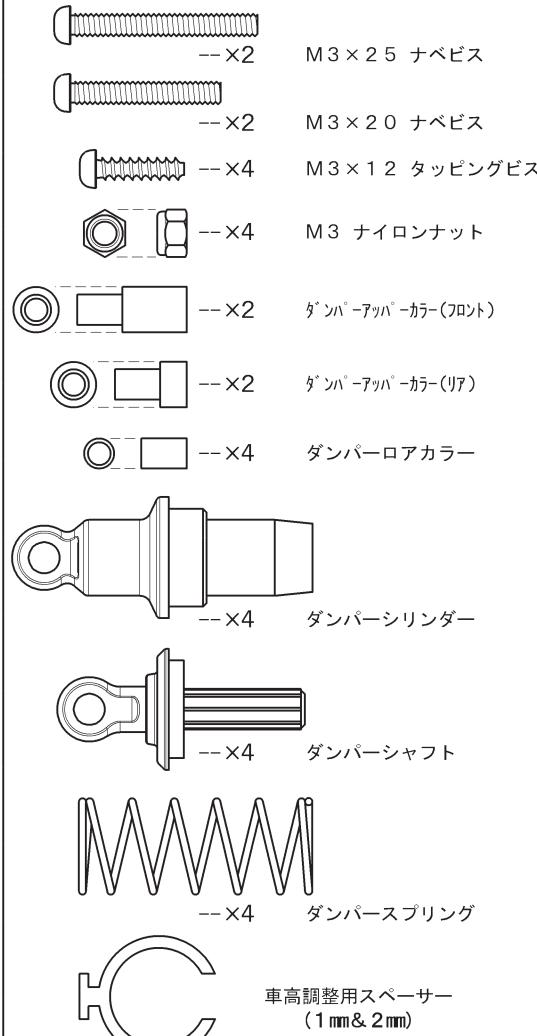


リアサスマウント取付後、ドックボーンをソリッドジョイントにはめ込み、リアアクスルに差し込んで下さい。



アッパーアームをボールエンドに
はめ込みます。
(反対側も同じ様にはめ込みます。)

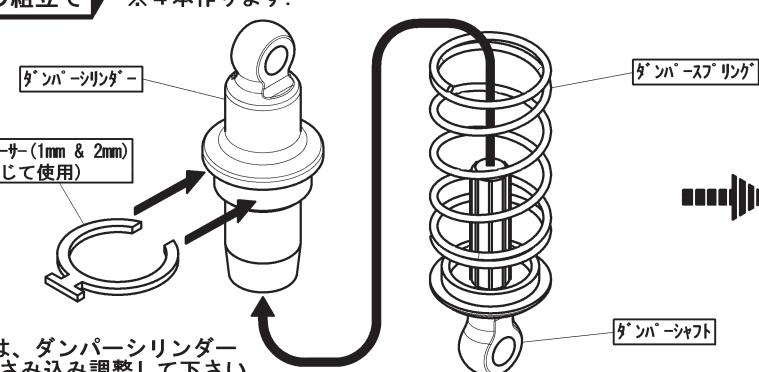
【 使用する部品内容 】



13 前後ダンパーの取付け

ダンパーの組立て

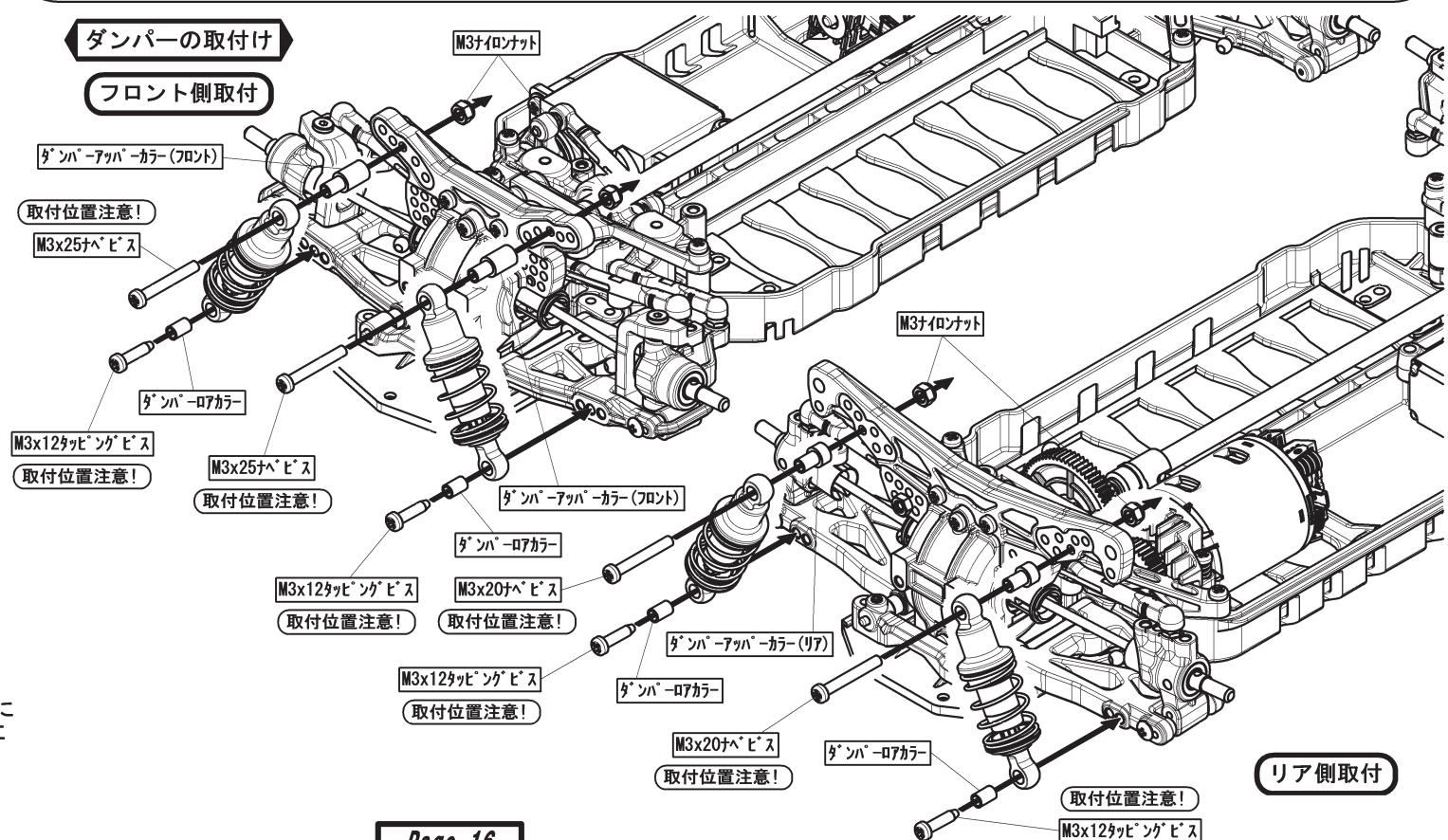
※4本作ります。



ダンパーの完成！

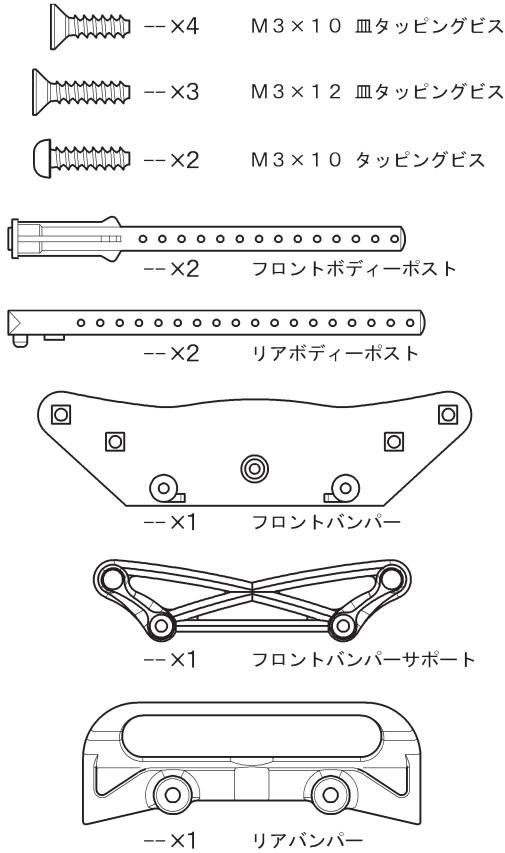
ダンパーの取付け

フロント側取付

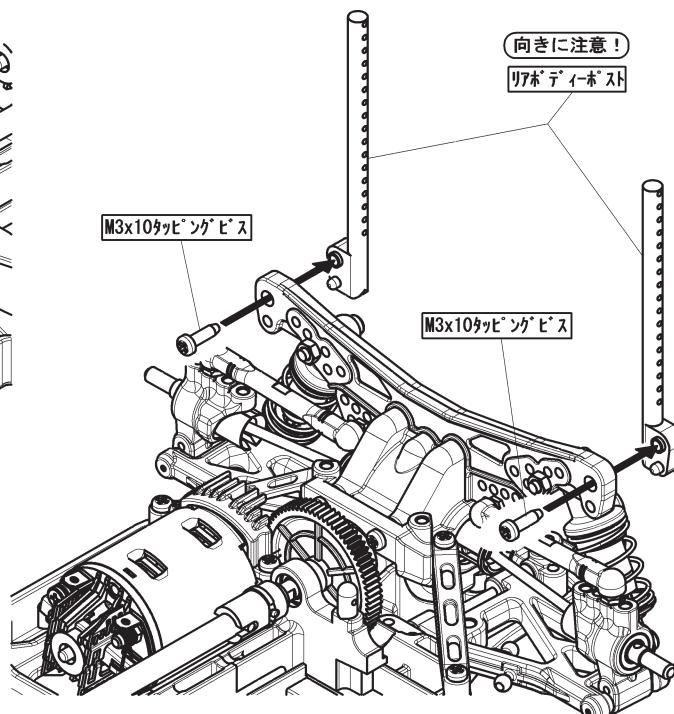
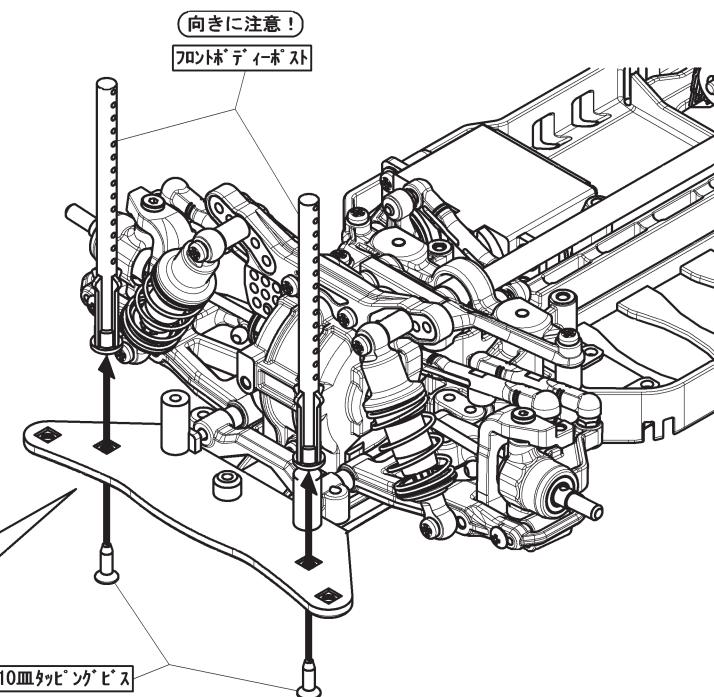
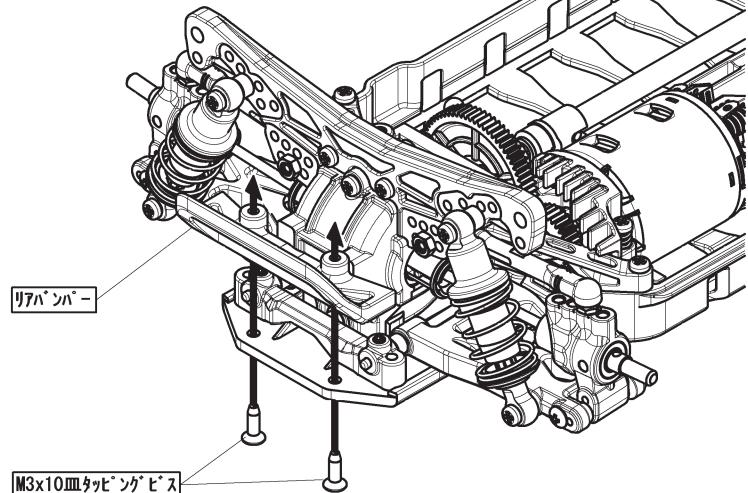
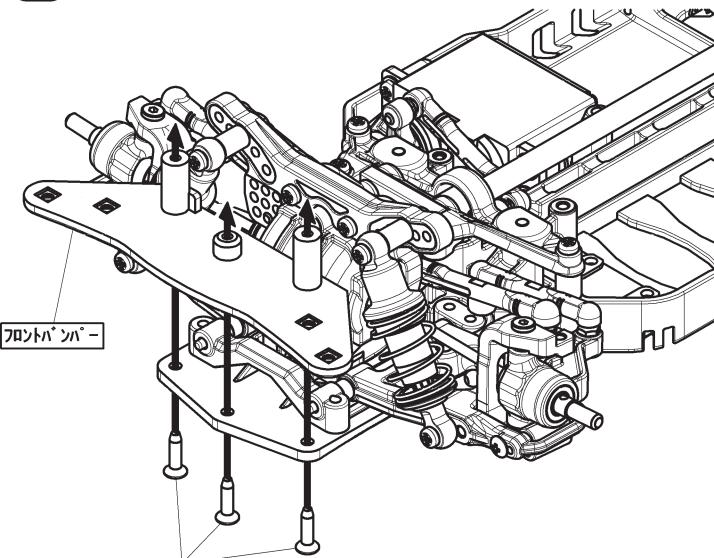


注意！—ダンパーをショックタワー、ロアアームに取付ける際は、位置を間違わないように注意して下さい。

【 使用する部品内容 】



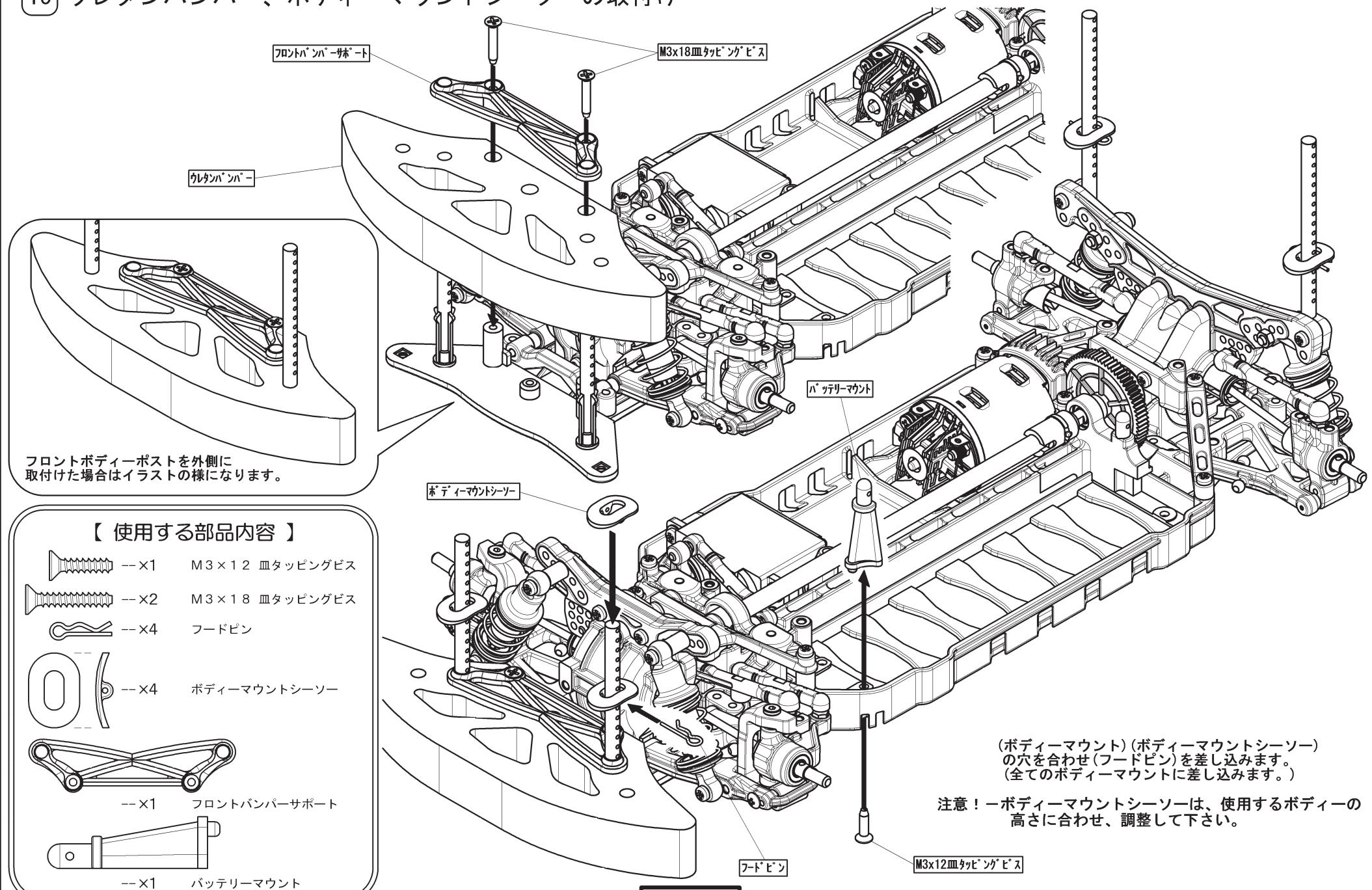
14 フロント&リアバンパー、ボディーポストの取付け



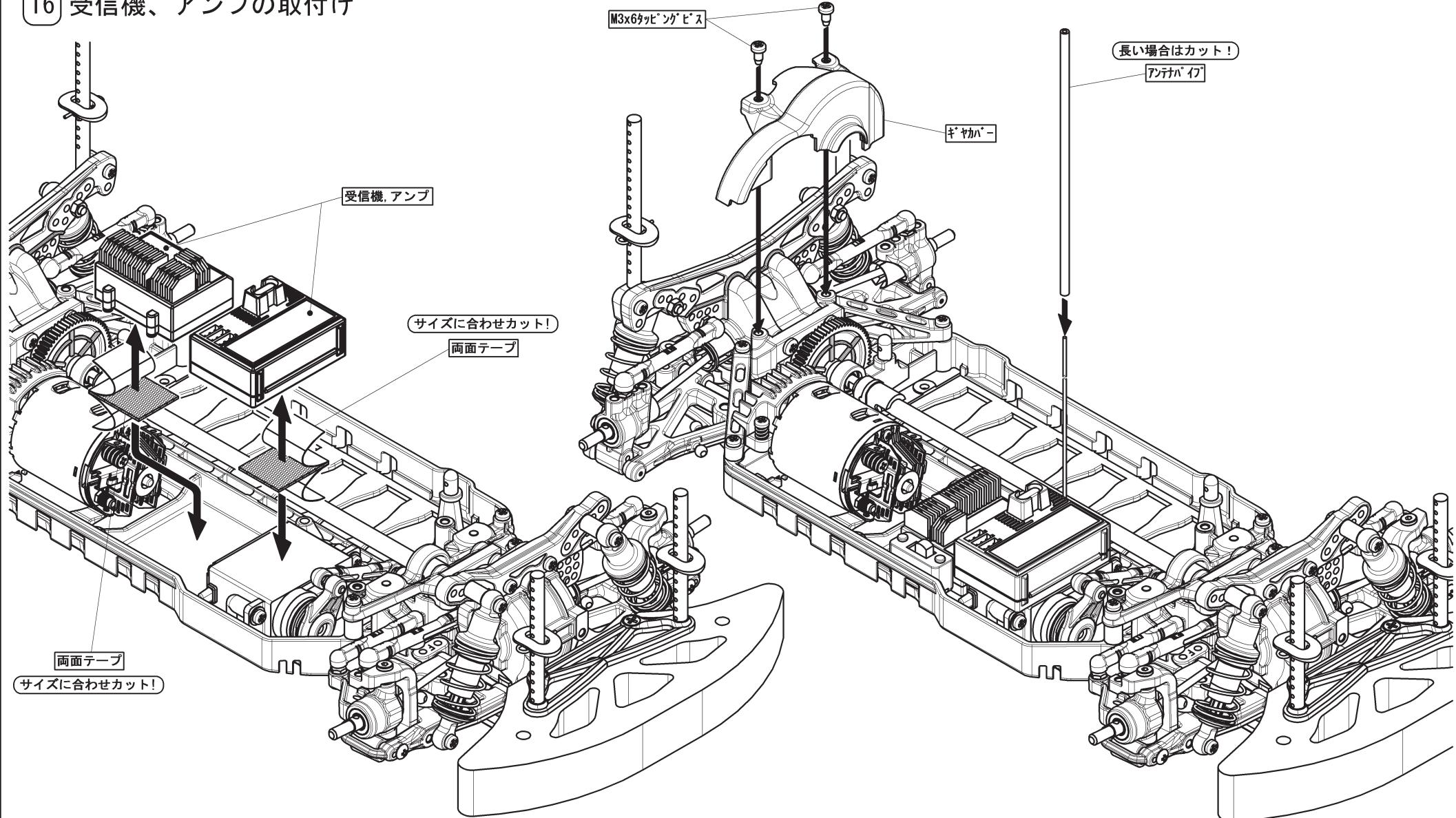
注意!

フロントボディーポストの取付位置は
使用するボディーによって変わります。
ボディーに付属する取扱説明書を必ず
お読み頂き取付位置を確認して下さい。

15 ウレタンバンパー、ボディーマウントシーソーの取付け



16 受信機、アンプの取付け



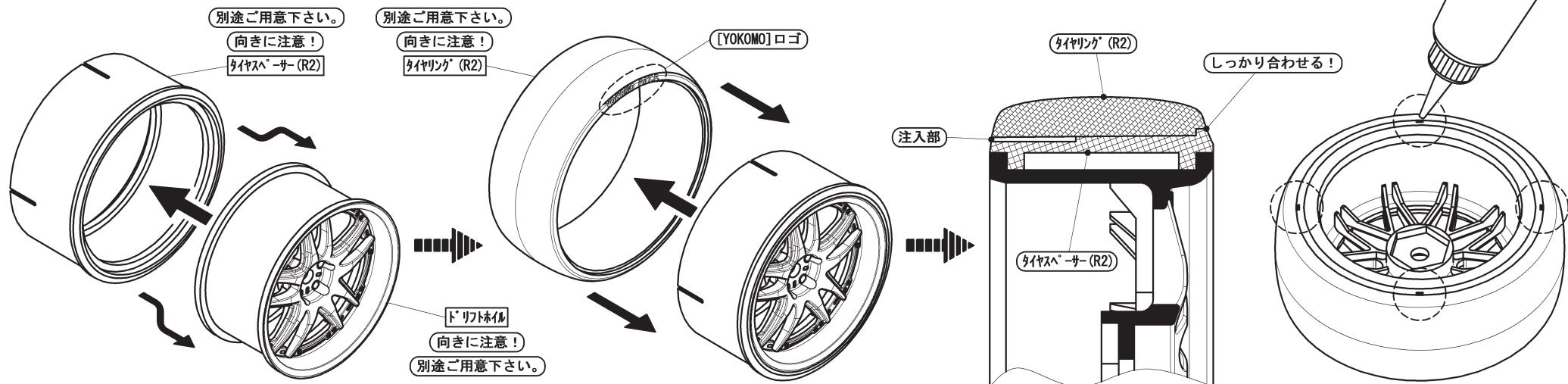
注意！①(受信機)(アンプ)の固定は付属の両面テープを使用し
シャーシにしっかりと固定して下さい。
(接着面をクリーナーなどで脱脂しておくと、はがれ
にくくなります。)

アンテナ線をイラストのようにアンテナマウントから
アンテナパイプに通し、マウントへ深めに差込みます。

注意！②余ったアンテナ線はメインドライブシャフトなどの
稼動部分に触れない様に束ねて下さい。

17 タイヤの組立て

(4本作ります。) 注意！一ホイル、タイヤは含まれておりませんので別途ご用意下さい。
イラストのタイヤは [ZR-DR04] ゼロワンR2タイヤ ●980 を使用しています。

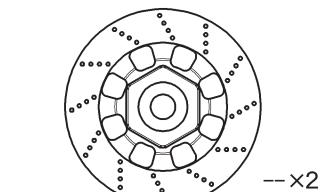


ホイルにタイヤスペーサーをしっかりとはめ込みます。
(はめ込みが不十分だと次工程のタイヤリングをはめ込む
作業がしらずになります。)

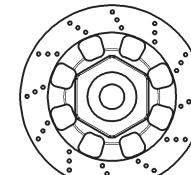
タイヤリングを組み込む際にタイヤスペーサーにオイル等を
薄く塗ると簡単に作業することができます。
(オイルの塗りすぎに注意して下さい。)

タイヤリングのサイドウォールにピッタリとあわせてから、反対側の
4ヶ所のミゾ部に瞬間接着剤を流し込んで固定します。
(タイヤリングを組み込む際にオイル等を使用した場合は30分以上
置いてから接着剤を使用して下さい。)

【 使用する部品内容 】



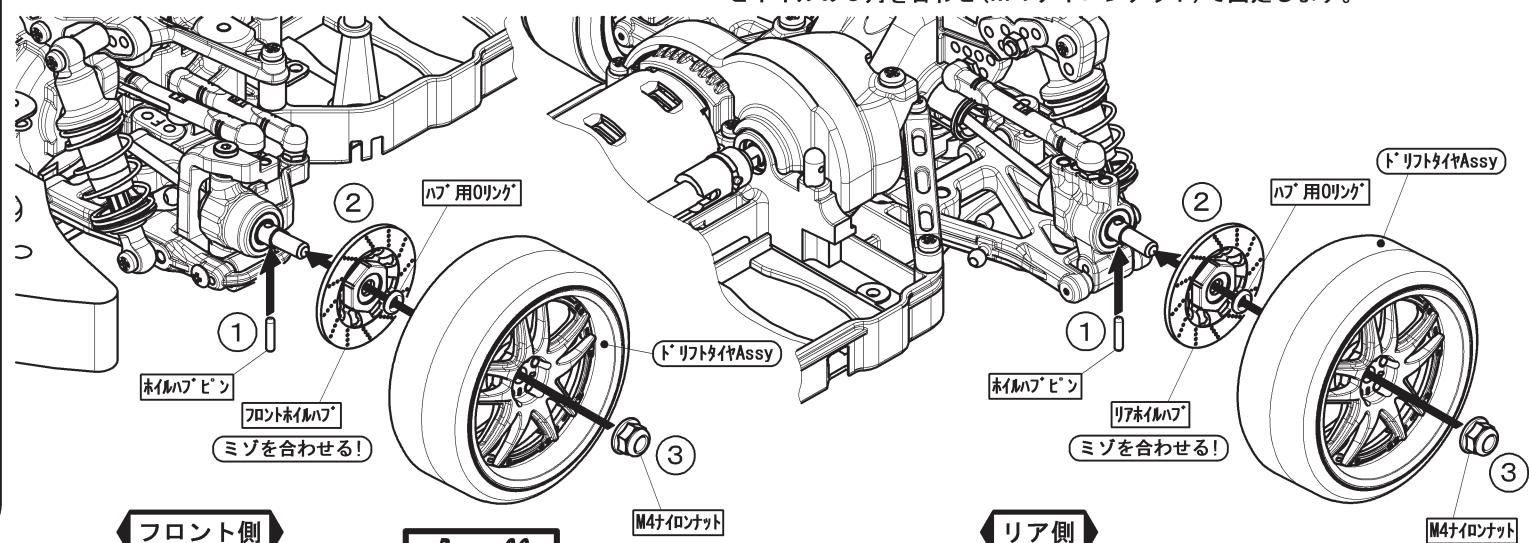
ディスクローター型フロントホイルハブ(ディスク径-大) --x2



--x2

ディスクローター型リアホイルハブ(ディスク径-小) --x2

18 ホイルハブ、タイヤの取付け



フロント側

Page-20

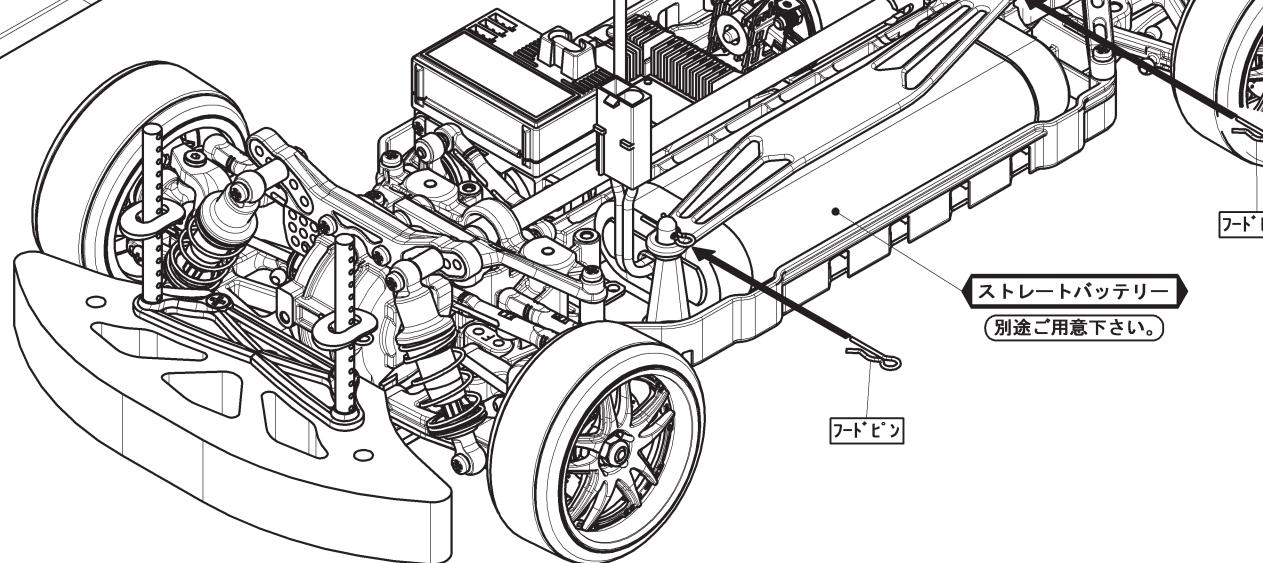
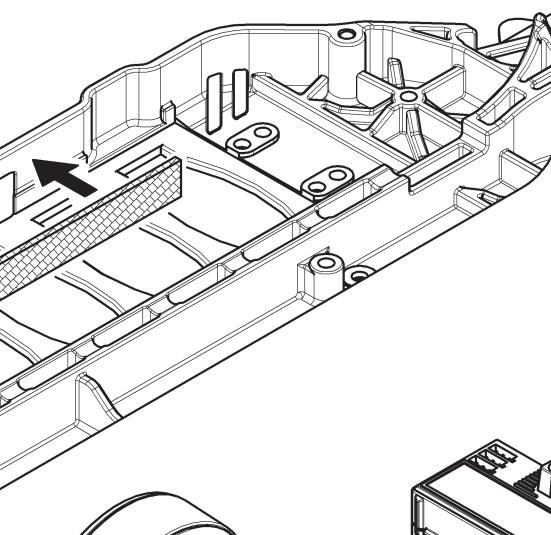
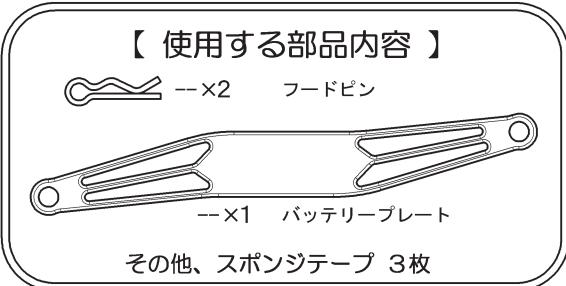
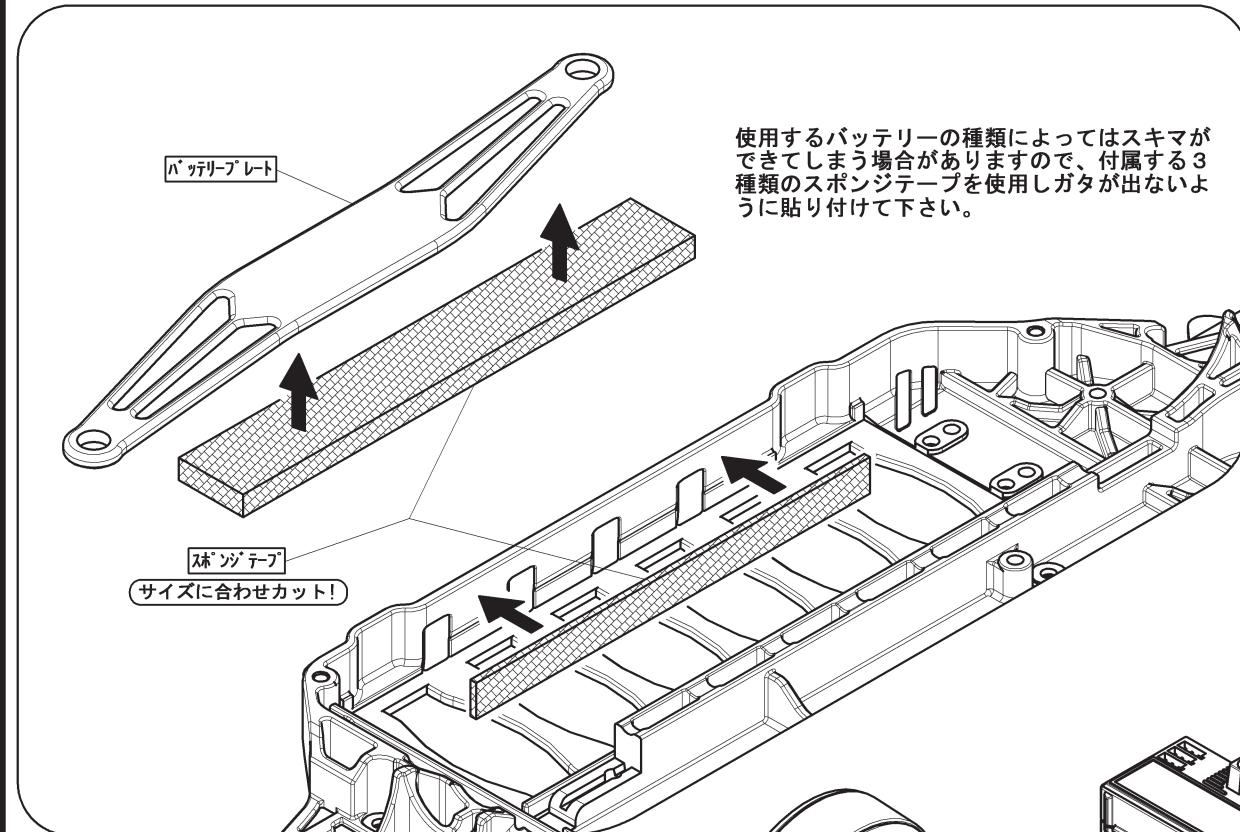
リア側

別途ご用意下さい。
瞬間接着剤

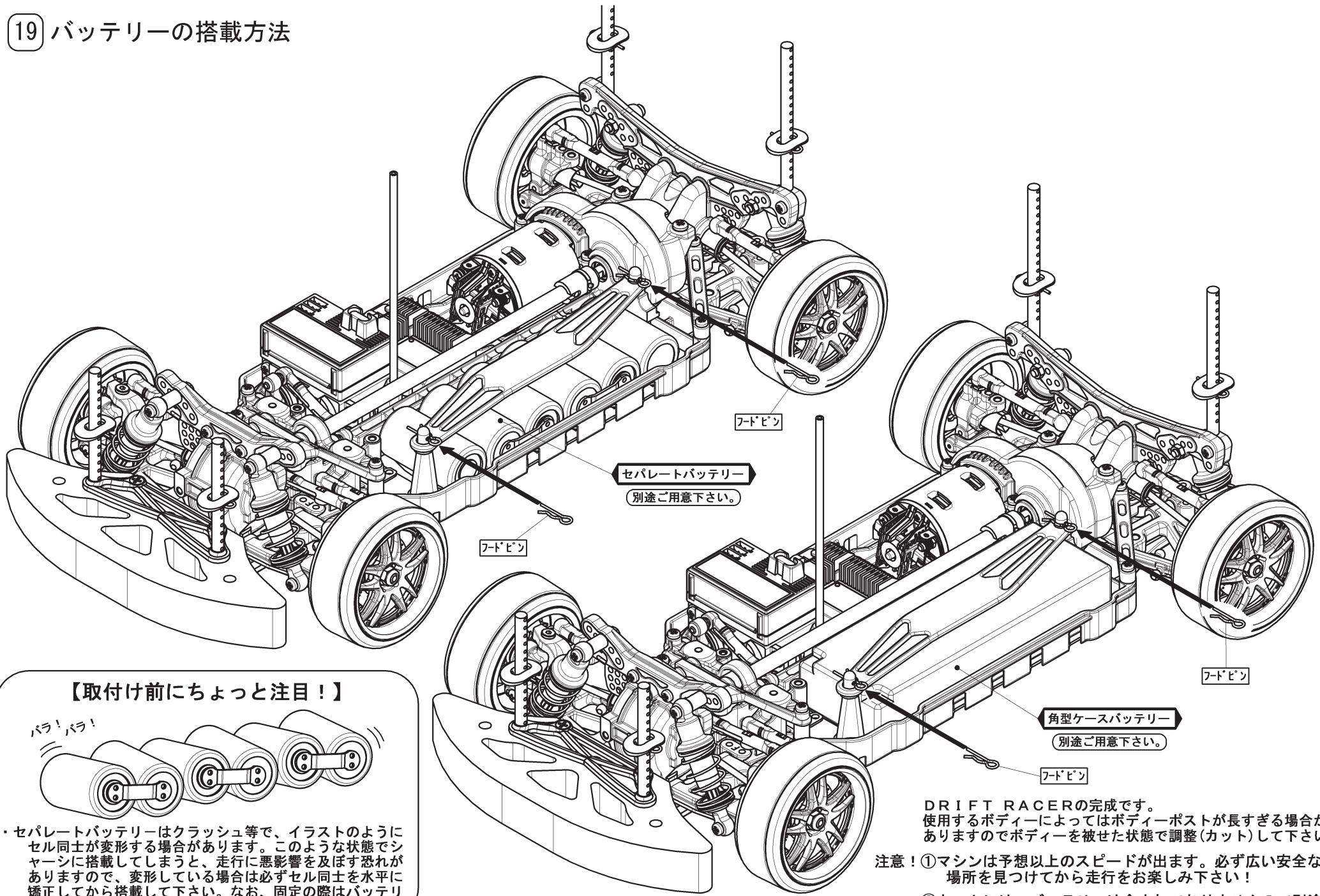
【 反対側も同じ様に固定します。】

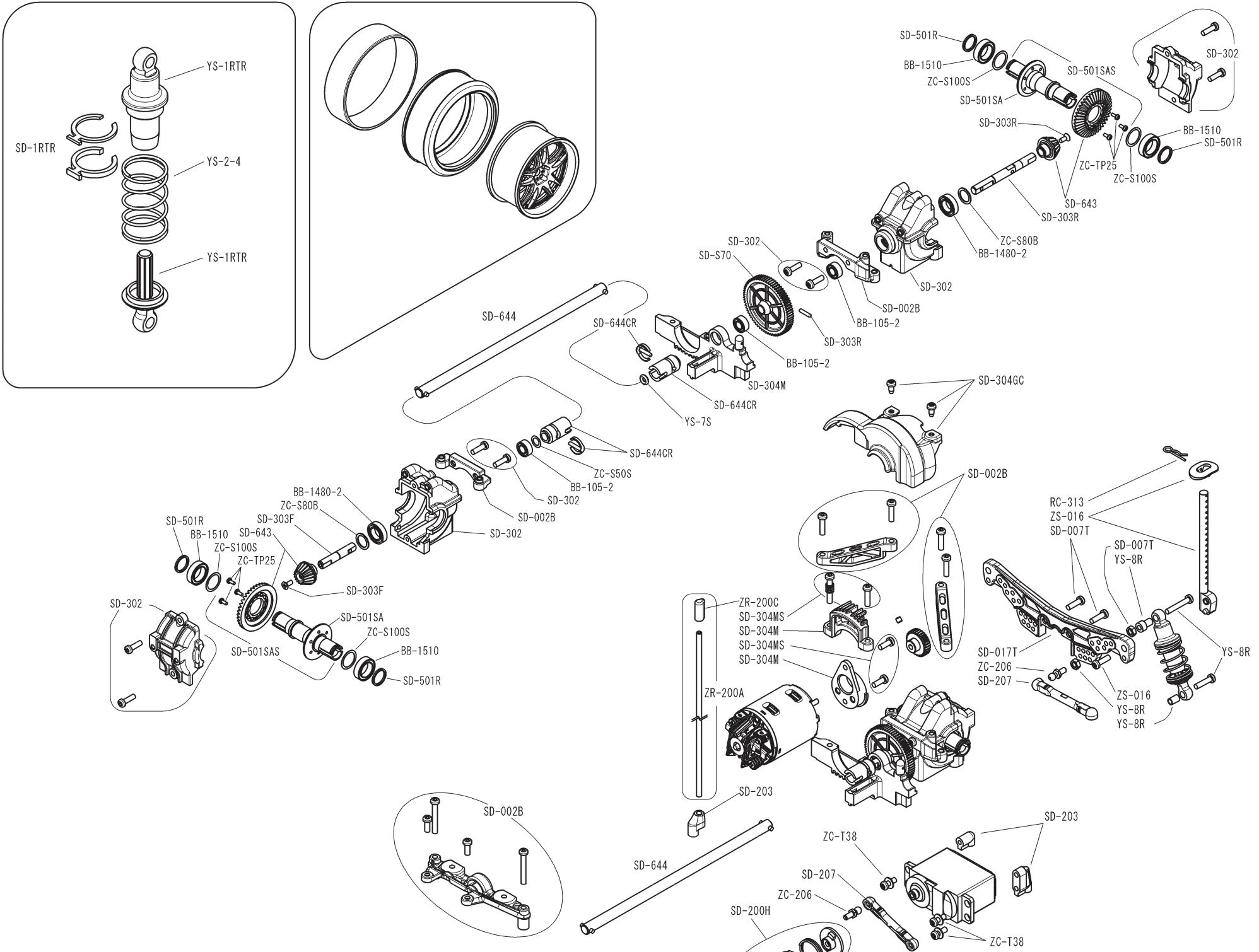
アクスルに(ホイルハブpin)をさし込み、(ディスク型ホイルハブ)を
pinミゾにはめ込みます。(ハブ用Oリング)をさし込み、ホイルハブ
とホイルの6角を合わせ(M4ナイロンナット)で固定します。

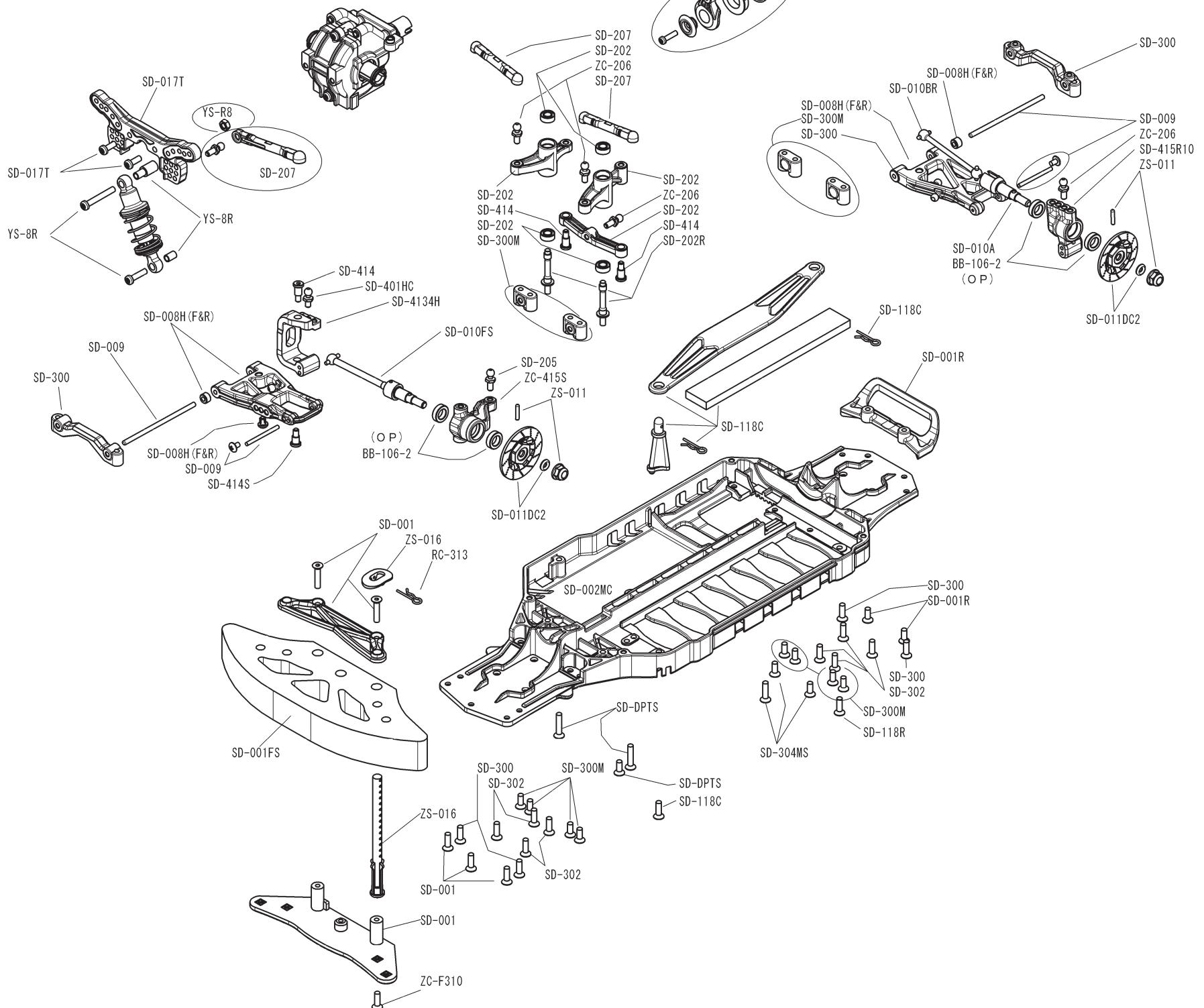
19 バッテリーの搭載方法



19 バッテリーの搭載方法







ヨコモ取扱店リスト

AS A MANUFACTURER OF WORLD CHAMPIONSHIP WINNING CARS,

YOKOMO WILL CONTINUE TO PROVIDE THE BEST AVAILABLE TECHNOLOGY TO R/C ENTHUSIASTS ALL OVER THE WORLD.
ENJOY THIS PRODUCT KNOWING THAT YOU ARE DRIVING ONE OF THE BEST HANDLING R/C CARS EVER DESIGNED.



世界のブランド YOKOMO

ヨコモは競技用 R/C カー（ラジオコントロールカー）の専門メーカーです。その製品は、全日本選手権、全米選手権、ヨーロッパ選手権、そして R/C カーレースの最高峰である世界選手権レースでも優勝。世界の R/C カーマニアに愛用されています。